

盛岡市議会 会派「市政クラブ」

平成 30 年度予算要望への回答

目 次

(部 等 名)	(頁)
市 長 公 室	1
総 務 部	4
財 政 部	10
市 民 部	14
環 境 部	18
保 健 福 祉 部	20
子 ども 未 来 部	25
商 工 観 光 部	28
農 林 部	34
中央卸売市場	37
建 設 部	38
都 市 整 備 部	45
上 下 水 道 局	50
市 立 病 院	53
教 育 委 員 会	54
玉山総合事務所	61

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【市長公室関係】 P 1 連携中枢拠点都市として広域市町と連携し、産業振興や医療福祉・防災・環境・交通・教育・人事交流の連携を促進されたい。特に、施設の機能分担や県との二重行政の解消を促進されたい。	「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」に示した「盛岡広域圏の中長期的な将来像」を達成するためには、広域圏全体と構成各市町の特長を生かしながら、経済成長や都市機能の強化、生活関連サービスの向上といったメリットの相互共有を図る必要があると存じておりますことから、各分野にわたる計画事業の着実な実施に向けて、関係市町との連携をより一層深めてまいります。 また、県と市の二重行政の解消につきましては、他都市での取組状況等を参考にしながら、引き続き、研究してまいります。 （市長公室企画調整課都市戦略室） 〔人事交流については、総務部で回答〕
P 1 自治体運営は財政面や上位官庁の視点による誘導策から決定するのではなく、盛岡市の政策立案力や企画調整力を発揮することで執行されたい。そのための体制を構築していただきたい。	地方分権の進展等に伴い、自治体における自律的な経営が求められておりますことから、「人材育成基本方針」に基づき、職員の政策形成能力や職務遂行能力の向上など人材育成を推進するとともに、組織目標の着実な達成を可能とする組織力の向上を中心とした組織マネジメントの推進に努めてきたところです。 今後におきましても、職員の能力開発に努め、中核市として、施策を積極的に推進することのできる体制の構築に努めてまいります。 （市長公室企画調整課、総務部職員課）
P 1 国体以降の活性化として世界アルペン大会や冬季アジア大会、NHKフィギア大会など冬季スポーツ大会誘致を促進されたい。冬季五輪招致のための調査をされたい。	〔市民部で回答〕
P 1 国際会議場の設置および国際会議の実績を積んで頂きたい。I L C誘致の効果が仙台市に流れないようにされたい。	〔前段は、商工観光部で回答〕 現在、「ILC誘致実現を見据えた国際化のまちづくり」に関する外部有識者会議を開催するなど、ILC誘致による波及効果を高めるための施策の取りまとめに着手しているところで

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 1 30カ年での都市構想や、単年度決算では見えない中期的な決算の視点で市の施策を計画して頂きたい。	あり、今後も引き続き、有効な施策の展開に向けて努めてまいりたいと存じます。 (国際リニアコライダー推進事務局)
P 1 盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略については、その効果を熟慮した上で事業選択を行っていただきたい。	総合計画の基本構想の策定に当たっては、平成52年までの長期にわたる人口推計を行うとともに、社会の潮流や普遍的な本市の特徴や魅力を踏まえ、10年以上先を見通すなど、長期的視点に立ちながら策定しておりますが、施策の中には、子育て支援や高齢化社会への対応など、短期的な目標を定め取り組むものがある一方、土地政策やインフラ整備など、20年から30年先を目標にしながら取り組む領域もあるものと存じておりますことから、各部門別において策定する個別計画や施策の立案に際しても、総合計画の方向性を踏まえるとともに、必要に応じて長期的な視点を見据えながら取り組んでまいります。 (市長公室企画調整課)
P 1 県と市の連携による施設の合築を促進されたい。	〔財政部で回答〕
【商工観光部関係】 P 4 石川啄木を通じた、函館市・文京区との連携や友好関係の締結を促進されたい。	本市は、函館市とは「啄木かるた大会」を相互に開催しておりますし、東京都文京区とは平成24年7月に「石川啄木ゆかりの地」地域文化交流に関する協定を締結するなど、両都市とは、「啄木」を縁とした交流を進めております。

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
	29年度については、函館市におきましては、本市教育長が「函館市文学館」を訪問するなど、文化レベルでの交流を深めているほか、文京区におきましては、成澤廣修文京区長を盛岡に招待し、啄木ゆかりの地の訪問やさんさパレードに参加いただくなど、交流を図っているところであります。 今後、函館市、文京区とは、「啄木」を縁に、人的・物的な交流を促進し、更なる連携・友好関係を築くよう努めてまいります。 （市長公室企画調整課，教育委員会事務局歴史文化課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【市長公室関係】 P 1 - 連携中枢拠点都市として広域市町との連携し、産業振興や医療福祉・防災・環境・交通・教育・<u>人事交流</u>の連携を促進されたい。特に、施設の機能分担や県との二重行政の解消を促進されたい。 P 1 - 自治体運営は財政面や上位官庁の視点による誘導策から決定するのではなく、盛岡市の政策立案力や企画調整力を発揮することで執行されたい。そのための体制を構築していただきたい。	〔<u>人事交流</u>部分のみ〕 職員の人事交流につきましては、広域首長懇談会における取組として、職員研修の相互参加を呼び掛け、実施しております。今後におきましても、職員間の相互理解と能力・資質向上のため継続実施していくとともに、人材育成を含めた定期的な情報交換を実施してまいります。 (総務部職員課) 地方分権の進展等に伴い、自治体における自律的な経営が求められておりますことから、「人材育成基本方針」に基づき、職員の政策形成能力や職務遂行能力の向上など人材育成を推進するとともに、組織目標の着実な達成を可能とする組織力の向上を中心とした組織マネジメントの推進に努めてきたところです。 今後におきましても、職員の能力開発に努め、中核市として、施策を積極的に推進することのできる体制の構築に努めてまいります。 (市長公室企画調整課、総務部職員課)
【総務部関係】 P 1 東日本大震災被災者や災害被害者に対する支援を継続されたい。	東日本大震災で被災された方々に対しましては、「東日本大震災に係る盛岡市復興推進の取組方針」に基づいて支援に取り組んできたところであります。震災から7年が経過しようとしている中、市内に災害公営住宅が整備されることから、新たな居住地域でのコミュニティ形成を支援するなど、恒久住宅に移られる方々への支援に取り組むとともに、引き続き、個々の事情に応じた支援を行ってまいります。 また、他の自治体で発生した災害につきましても、支援ニーズの把握に努め、職員派遣、物資支援、給水支援、ボランティア支援などを行い、被害に遭われた地域が一日も早く復旧・復興し、その地にお住まいの方々が元の生活を取り戻し、安心して暮らすことができるよう、できる限りの支援を行ってまいります。 (総務部危機管理防災課)

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 1 職員を市外県外国外へ研修で派遣されたい。 また、職員コンプライアンス教育の徹底をされたい。	職員の派遣研修につきましては、毎年、市町村アカデミー等、県外の研修機関へ派遣するなど、職員の能力開発に努めているほか、職員の見聞を広げることを目的とし、各部署における先進地視察や岩手県市町村振興協会主催の行政調査研修、他団体の職員との交流を伴う研修などにも積極的に派遣しているところです。今後におきましても、派遣研修等を通じた人材育成を図ってまいります。 また、職員に対するコンプライアンス教育につきましては、これまでの不祥事案を教訓に、全庁を挙げて取り組んできたところですが、不祥事案の発生を受け、これまでの取組の検証と更なる取組を行っており、自らの問題として捉えられるような手法の導入や、職務に対する誇り、使命感、やりがいなど、ポジティブな視点でのコンプライアンスの意識付け、また、非違行為により本人自身が失うものや周囲に与える重大な影響について改めて認識させるような研修を行っているところです。引き続き、コンプライアンスに対する職員の意識改革に取り組んでまいります。 （総務部職員課）
P 1 職員OBを緊急時予備役として招集できる体制を取って頂きたい。	職員OBを緊急時予備役として召集できる体制につきましては、豊富な行政経験を有した人材の活用という観点から、災害時、緊急時の体制整備のための方策のひとつと考えられますことから、自然災害を含めた今後の市の危機管理体制の整備を図る中で、研究してまいります。 （総務部危機管理防災課・職員課）
P 1 地域防災計画の市民への浸透を図るとともに自主防災隊組織の結成以降の組織の育成をされたい。	地域防災計画につきましては、自主防災組織の結成促進と組織の育成強化にあわせて周知に努めているところであり、新たな防災マップを活用しながら、今後とも、出前講座等の機会を捉え、市民への浸透を図ってまいります。 また、自主防災組織の結成以降の組織の育成につきましては、各組織において、避難誘導訓練や消火訓練、応急救護訓練、炊き出し訓練などの実践的な訓練に取り組んでいただいております。また、災害発生時には、地域における自主的な防災・減災活動を統制するなど、その組織力を生かした活動をもって、地域の安全・安心の確立に御尽力いただいているものと存じております。市といたしましては、自主防災組織の結成促進はもとより、結成以降の組織の育成が必要であると認識しておりますことから、自主防災推進員による指導、助言を積極的

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 1 ・ 非常勤の障がい者の複数年度採用の方法を検討されたい。また障がい者法定雇用を維持するようにされたい。	に行い、防災意識の更なる高揚を図るとともに、自主防災組織の自主的な活動がさらに活発に行われるよう、引き続き、消防署や消防団と連携しながら支援してまいります。 (総務部消防対策室) 非常勤職員については、業務の必要性に応じ、1年を超えない範囲で期間を定め任用しており、必要に応じ、再度の任用を行うなど柔軟に対応しているところです。複数年雇用については、雇用不安を解消する方策の一つと考えられますが、当初から複数年で雇用することについては、雇用のミスマッチ等も懸念されることから、業務継続の必要性や任用に対する希望等を十分に確認した上で、任用の更新等を行ってまいります。 また、障がい者の法定雇用率につきましては、平成29年度から、これまでの身体障がい者に加え、知的及び精神障がい者も対象とした特別枠の採用試験や「障がい者の非常勤職員名簿登録制度」を活用した非常勤職員の採用により、必要人員は充足しているところですが、市を始めとした公的機関は、障がい者の方々の雇用の促進について民間事業主に対し率先垂範すべき立場にありますことから、引き続き、障がい者の雇用の場の確保に努めてまいります。 (総務部職員課)
P 1 ・ 市役所の建て替えについて市民アンケートを実施して頂きたい（場所や合併協定を含め）。	将来の市庁舎建設の財源確保のため、平成23年度に「市庁舎整備基金」を創設し、毎年度2億円ずつ積み立てているところですが、自主財源として、50億円程度は必要と見込んでおり、基金の積み立てが現状で推移する場合には、平成47年度にこの額に達することになるほか、現庁舎の老朽化の面から考えましても、平成47年度は、本館の耐震改修工事が完了して22年目に当たりますことから、その辺りが新庁舎建設の目途になるものと考えております。 庁舎建設は、行政運営上極めて重要な課題であり、市民の意見を広く聴きながら、将来の街づくりや市民の利便性などを踏まえて計画を策定する必要があると考えており、今後、公共施設保有最適化・長寿命化計画に位置付けながら、建設規模や整備手法、資金計画の検討など、事業計画を策定していく段階において、市民アンケートについても検討してまいります。 (総務部管財課)

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 1 条例を制定するだけでなく、条例の廃止や時代に合った条項の変更も行われたい。	条例の廃止や条項の変更につきましては、法令として一定の規律性を保ちながら、関係法令の改正や施策の方向を考慮し、検討を加え、必要な改正や廃止を行っております。今後とも必要に応じて所要の措置を講じてまいります。 (総務部総務課)
P 1 未利用市有財産の処分や活用を促進されたい。	盛岡市総合計画の実施計画において、平成27年度から31年度までの5ヵ年の活用目標額を18億7千万円と定め、未利用市有地の処分・貸付等の有効活用に取り組んでおります。今後も未利用市有財産の効率的な利用を促進するとともに、新たな利活用の方法について研究してまいります。 (総務部管財課)
P 1 自治体クラウドにおける行程や方針を早期に示されたい。	自治体クラウドの導入については、情報システムの運用コストの圧縮の観点から有効であるとして、国において全国の自治体クラウドの先進事例等を分析し、その成果を活用して取組を加速することとしております。自治体クラウドによるシステムの広域化・共同化については、自治体間で異なるシステム・費用の調整等の詳細な検討が必要でありますことから、現有システムの更新時期等を考慮しつつ、国の動向等を踏まえて検討を進めてまいります。 (総務部情報企画室)
【財政部関係】 P 2 指定管理者制度や委託の検証をされたい。具体的には、収支報告・活動報告について混乱を引き起こさないよう、年度初めから適切な指導をされたい。各担当課によって指導や書類記載の内容が著しく異なることの無いよう、基礎的部分においては、盛岡市共通のひな形があるこ	指定管理者制度や業務委託においては、あらかじめ定めた仕様や協定・契約に基づき公共サービスが適切に提供されているかについて、定期的に履行内容を確認しております。また、指定管理者制度においては、このような確認に加え、公正かつ客観的視点から第三者による評価を実施するとともに、統一的な視点による業務の履行状況確認（モニタリング）を採り入れることにより、市民及び利用者に対するサービスの向上に努めております。指定管理者制度における各種報告については、市と指定管理者とで締結する基本協定書

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
とが望ましい。また指定管理制度や委託において、従業員の労働条件が劣悪なものにならないよう指導されたい。また、複数年にわたり指定管理や委託事業を受託している場合賃上げや労働条件が向上するよう指導されたい。デフレからの脱却の観点で指定管理費や委託費を上げていただきたい。	に基づき、業務の実施状況、利用状況、経理の状況等を記載した事業報告書等の提出をお願いしております。 業務委託については、個別の委託業務の性質、内容等が多岐にわたっていることから、市としての統一した報告様式は定めておりませんが、仕様書及び業務委託契約書に基づき受託者から成果品や報告書等を提出いただいているところです。 労働条件につきましては、当該受託者の実情に応じ対応されるべきものと存じますが、当該受託事業の適切な実施の観点から、適正な労働環境の確保に向け意識の啓発に努めており、指定管理者制度においては、選定の審査項目に「適正な労働条件の確保」を設けるとともに、賃金や労働時間などの労働条件について定期的に調査を行うなど、その把握に努めております。また、指定管理者と所管課を対象とした連絡会議を開催し、岩手労働局の担当者を招き、労働条件等に関する研修を行うなど意識の向上を図っております。 指定管理料や委託料については、指定管理や業務委託が適正に実施されるように、仕様書などに基づき算出しているところであり、指定管理料の上限額算定に当たっては、指定管理者による柔軟な運営が可能となるよう一般管理費を加算するなど、新たな算定基準による運営についても見直しを行っております。 （財政部資産経営課、総務部職員課）
【都市整備部関係】 P 5 ・ 岩山公園整備について総合的な岩山地区活性化計画を推進して頂きたい。道路整備や旧漆芸美術館の活用を推進されたい。また、盛岡市動物公園の活性化を図られたい。	岩山公園につきましては、平成24年度に作成した「岩山公園整備基本計画」に基づき整備を進めておりますが、さらに岩山エリア全体の活性化を目指し「岩山エリア公民連携事業基本計画」の策定を予定しております。 道路整備につきましては、平成22年度より市道岩山2号線の旧漆芸美術館周辺、約750メートルの区間について歩道新設事業を実施しており、新庄浄水場側180メートルの整備が済んでおります。今後も残区間の整備促進に努め、早期の事業完了に向けて取り組んでまいります。 旧漆芸美術館の活用につきましても、岩山エリアの活性化に向けた取組の一環として検討してまいります。

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
	また、盛岡市動物公園につきましては、今後財政負担増が見込まれるため、民間ノウハウを活用することで財政負担軽減を図りつつ、市民が誇りに思える動物公園を創造することを目的に、公民連携事業を推進してまいります。 (都市整備部公園みどり課、建設部道路建設課、総務部管財課)

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【市長公室関係】 P 1 県と市の連携による施設の合築を促進されたい。	県と市の連携による施設の合築については、盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画の今後の課題として、市と県・周辺自治体の有する公共施設の最適化のため各自自治体間での相互利用や連携した施設更新などの検討について取り組むこととしており、個別施設の整備に当たっては、それぞれの施設の状況を勘案した上で、合築など各自自治体間の連携の可能性についても検討することとなります。 (財政部資産経営課)
【財政部関係】 P 1 地域の税収が一定程度地区で執行できる枠組みを検討されたい。	毎年度の予算編成において、限られた財源を有効に活用するために事務事業の優先度及び緊急度等全庁的に判断し予算計上しておりますことから、税収を一定程度地区で執行できる枠組みにつきましては、当面難しいものと考えております。 (財政部財政課)
P 1 枠配分方式の弊害を検証して、部局横断的かつ弾力的な運用や地域要望にそった施策を実施されたい。	行政評価を活用した施策別予算配分方式を導入した結果、成果を重視したマネジメントサイクルの定着化が図られた一方で、義務的経費の増大などにより、重点施策に優先的に配分する一般財源の確保が困難となり、施策別予算配分方式における予算編成が効果的に機能しにくくなったことや、27年度からの新しい総合計画実施計画において「戦略プロジェクト」が創設されたことから、28年度当初予算編成より、予算の重点化を、施策単位から戦略プロジェクトの構成事業単位に見直すとともに、財源配分方式による予算編成ではなく、査定方式により必要な事業費の確保に努めたところです。 30年度の予算編成に当たっては、より精度の高い予算見積及び調整を図るために、新たに「総合査定方式」により予算編成を行うこととしております。 これまでも限られた財源をより効果的に市民福祉の向上や地域要望に反映させるという視点で所要額を確保してきたところであり、今後もそのような考え方で対応してまいります。 (財政部財政課)

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 1 公共施設等整備基金の計画的な積み増しを図られたい。予防管理の視点を導入すすめられたい。	平成28年2月に策定した「公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」事業及び関連修繕を確実に実施できるよう期間中の所要財源の一部として、平成29年度の9月補正予算においても約4億8千万円を積立てたところであり、今後も基金の充実を図ってまいります。 (財政部財政課)
P 1 借入金の圧縮に努められたい。	後年度への負担軽減を図るため、毎年度の新規市債発行額を、臨時財政対策債を除き予算総額の8%以内かつ元金償還額以内となるよう努め、市債残高の縮減に努めてまいります。 (財政部財政課)
P 1 岩手競馬の収支および今後の運営の見通しの説明とあわせて融資についての回収の方向性を示されたい。	(1) 岩手競馬の収支 岩手競馬の29年度第7回水沢競馬(4/1～11/20)までの発売額は、計画額22,433百万円に対し、実績額24,206百万円、計画達成率は107.9%であり、インターネット等の発売額の伸びにより堅調に推移し、当期利益は38百万円の見込みとなっています。 (2) 今後の運営の見通し 競馬組合は、これまで岩手競馬組合競馬事業収支改善計画(H22～36)に基づき、①低コスト経営体質への構造転換や発売体制の充実強化 ②経営構造の転換のための地全協交付金猶予により、新たな経営構造の構築を進めてきました。 インターネット発売の伸びによりここ数年、発売収入を伸ばしてきましたが、今後も、インターネット発売による好調な伸びが見込まれるほか、自場発売についても減少に歯止めをかけられるようファンサービスやPR等経営の改善に取り組むとともに、老朽化した施設の計画的な改修や馬資源の確保に努め、本計画の着実な推進に努めることとしています。 (3) 融資について回収の方向性 平成29年11月24日に開催された競馬組合定例会において、最終利益を252百万円とした平成28年度決算が認定され、当市にも15百万円が返済されることとなりました。 今後におきましても、岩手競馬の安定的な運営を支援していくとともに、融資の返済を継続的に行うよう申し入れを行ってまいります。 (財政部岩手県競馬組合経営改善対策事務局)

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 2 未収金解消のための施策の実施と収納率の向上を図られたい。同時に市の債権の名寄せを実施され回収を措置されたい。	収納率向上対策につきましては、平成14年に市税等収納率向上対策推進本部を設置し、以後、収納率の向上及び累積滞納の縮減を図るべく、本部方針の下に取組みを強化してまいりました。 平成29年7月に開催した上記本部会議において ① 収納率向上による自主財源の早期確保 ② 事務の効率化による徴収等経費の削減 ③ 滞納整理等に係る具体的な数値目標の設定 を平成29年度の基本方針とし、目標収納率を97.00%以上としたところであり、市税等の自主財源の確保を図るため、滞納整理の厳正化や効率的な収納体制の整備などをより一層進め、全庁を挙げて取り組んでおります。 平成30年度におきましても、納税推進センターを活用して早期収納に向けた納税勧奨を行うほか、事務の効率化を図りながら滞納整理を積極的に進め、収納率の向上及び累積滞納の縮減に向け、職員が一丸となって取り組むこととしております。 債権の名寄せにつきましては、原則、賦課担当所管課が徴収までを一元的に行うこととしておりますが、公債権につきましては、引き続き必要に応じ納税課及び税外歳入担当課が連携して取り組み、歳入の確保を図ってまいります。 （財政部納税課）
P 2 広告収入を確保されたい。また、寄付をより受け入れるような体制をつくられたい。	市広報やホームページ、各種印刷物への広告掲載のほか、新たな広告媒体として、ネーミングライツやスポーツ施設広告掲出事業など、広告収入を確保する方策を図ってまいります。 寄附の受入については、平成28年9月から市の特産品等を返礼品として贈呈することを開始したほか、これまでの金融機関での納入に加えて、インターネットとクレジットカードを活用した寄附の申込みから入金までを一連で行える環境を整備したところでありますが、今後におきましても寄附者がより寄附しやすい体制となるよう取り組んでまいりたいと存じます。 （財政部財政課・市民税課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 2 指定管理者制度や委託の検証をされたい。具体的には、収支報告・活動報告について混乱を引き起こさないよう、年度初めから適切な指導をされたい。各担当課によって指導や書類記載の内容が著しく異なることの無いよう、基礎的部分においては、盛岡市共通のひな形があることが望ましい。また指定管理制度や委託において、従業員の労働条件が劣悪なものにならないよう指導されたい。また、複数年にわたり指定管理や委託事業を受託している場合賃上げや労働条件が向上するよう指導されたい。デフレからの脱却の観点で指定管理費や委託費を上げていただきたい。	指定管理者制度や業務委託においては、あらかじめ定めた仕様や協定・契約に基づき公共サービスが適切に提供されているかについて、定期的に履行内容を確認しております。また、指定管理者制度においては、このような確認に加え、公正かつ客観的視点から第三者による評価を実施するとともに、統一的な視点による業務の履行状況確認（モニタリング）を採り入れることにより、市民及び利用者に対するサービスの向上に努めております。 指定管理者制度における各種報告については、市と指定管理者とで締結する基本協定書に基づき、業務の実施状況、利用状況、経理の状況等を記載した事業報告書等の提出をお願いしております。 業務委託については、個別の委託業務の性質、内容等が多岐にわたっていることから、市としての統一した報告様式は定めておりませんが、仕様書及び業務委託契約書に基づき受託者から成果品や報告書等を提出いただいているところです。 労働条件につきましては、当該受託者の実情に応じ対応されるべきものと存じますが、当該受託事業の適切な実施の観点から、適正な労働環境の確保に向け意識の啓発に努めており、指定管理者制度においては、選定の審査項目に「適正な労働条件の確保」を設けるとともに、賃金や労働時間などの労働条件について定期的に調査を行うなど、その把握に努めております。また、指定管理者と所管課を対象とした連絡会議を開催し、岩手労働局の担当者を招き、労働条件等に関する研修を行うなど意識の向上を図っております。 指定管理料や委託料については、指定管理や業務委託が適正に実施されるように、仕様書などに基づき算出しているところであり、指定管理料の上限額算定に当たっては、指定管理者による柔軟な運営が可能となるよう一般管理費を加算するなど、新たな算定基準による運営についても見直しを行っております。 （財政部資産経営課、総務部職員課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【市長公室関係】 P 1 国体以降の活性化として世界アルペン大会や冬季アジア大会、NHKフィギア大会など冬季スポーツ大会誘致を促進されたい。冬季五輪招致のための調査をされたい。	国際レベルの大会を開催することは、地域にインフラ整備効果や経済効果などをもたらすほか、トップアスリートの競技を間近に観戦できることで、市民のスポーツ人口の拡大や競技力の向上にも寄与するものと考えております。また、その一方で誘致に向けた市民意識の醸成、誘致体制の構築、又は経済的負担などの課題があるものと存じております。市といたしましては、平成29年3月に設立いたしました盛岡広域スポーツコミッションと連携しながら、2020東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致の取組を通じて冬季スポーツ大会につきましても視野に入れながら、スポーツツーリズムの推進の中で検討してまいりたいと存じます。 （市民部スポーツ推進課）
【市民部関係】 P 2 町内会への補助金を増額されたい。	平成27年3月に策定した盛岡市町内会・自治会協働推進計画において、町内会・自治会等の補助金申請の手続きを簡素化し、使途の自由度を高める協働推進奨励金制度を28年度から開始いたしました。 今後も必要に応じて、町内会・自治会をはじめ多くの市民の方々の御意見をお聞きしながら、見直し・改善等に取り組んでまいります。 （市民部市民協働推進課）
P 2 特定の市民に複数の役職が集中している実態を把握され、市民参加が市民負担となっていないか実態を調査されたい。	盛岡市町内会・自治会協働推進計画を策定した際に、全町内会からアンケートを採ったほか市内40ほどの町内会・自治会にお話を伺ったところ、それぞれ抱える課題は必ずしも共通ではありませんでしたが、特に、役員の高齢化や町内会・自治会活動に参加しない住民の存在、役員の担い手不足などの御意見をいただいております。 そのためこれまでも、地域活動の担い手育成のためのコミュニティリーダー研修会の開催や役員の事務負担軽減策として、街路灯の電気料金を東北電力㈱に直接支払することや、市からの回覧物やポスターの数を減らすことに努めたり、協働推進奨励金制度を創設するほか、相談窓口となる市民協働推進センターの設置、地域担当職員の配置などの支援を行

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 2 自転車事故防止のために、車道の左側走行と夜間ライト点灯の指導を強化していただきたい。	なつてまいりましたので、御活用いただきたいと存じます。 さらに、町内会・自治会の直接的な事務支援やイベント開催時等の支援につきまして、NPO等の専門的な知識を有する人材の派遣などを含め、今後どのようなことが可能なものか検討してまいります。 (市民部市民協働推進課)
P 2 新市営球場は県営球場との合築にしてハイグレードな施設としていただきたい。	自転車事故防止のための指導につきましては、通勤通学時における交通指導員による歩行者や自転車利用者に対する街頭指導のほか、交通安全教育専門員、交通指導員による小・中学校における交通安全教室での指導や学校、警察及び市の連携による高校生、大学生を対象とした学校周辺での通行指導を行っております。また、毎月8の日（岩手県自転車安全指導の日）には、関係機関及び関係団体と合同で、街頭や駅駐輪場での安全利用の呼びかけやルール・マナー違反者への指導を行っております。 市といたしましては、今後も警察及び関係団体等と連携を図りながら、自転車利用者に交通ルールの遵守や安全利用を引き続き呼びかけてまいりたいと存じます。 (市民部くらしの安全課)
P 2 国民健康保険の広域化における行程や概要、運営方針を早期に示されたい。	新市営野球場の県との共同整備につきましては、平成29年度は、民間活力導入可能性調査を実施しております。県との共同整備を前提とし、収容人員2万人を想定しておりますが、民間活力導入可能性調査結果を踏まえ、共同整備する場合の施設規模などについては、県が判断することとなりますので、共同整備の実現に向けて今後も協議を継続してまいります。 (市民部スポーツ推進課)
	国民健康保険の広域化におきましては、県主導のもと、県、市町村及び国保連による協議の場であります広域化等支援方針策定推進連携会議及びワーキンググループにおいて、継続して協議が行われてまいりました。 平成30年4月からは、都道府県が財政運営の責任主体となり、市町村は、保険料の賦課・徴収、保険給付、保健事業など従来どおり、地域におけるきめ細かな事業を実施することになっておりますが、平成29年11月17日に開催された県の国保運営協議会において、平成30年度からの県内国保の運営方針の最終案が答申され、年内に県知事が決定することとな

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
	っております。 答申された運営方針の最終案では、県内の国保医療に要する費用及び財政の見通し、事業費納付金・標準保険料率の算定方法、保険給付の適正化に向けた取組み、広域的及び効率的な事務運営の推進等が盛り込まれており、市町村はこの方針を踏まえ、事務の実施に努めることとなり、住民が安心して医療を受けられ、さらに被保険者の利便性に十分配慮されたものとなるよう、県及び構成市町村と連携を図りながら、制度の安定に向け、取り組んでまいります。 （市民部健康保険課）
P 2 ・ 総合プール・アイスリンクの近くに、ミーティングが出来る程度の広さの部屋を備え、長期滞在が可能なくらい安価な、合宿用宿泊施設を設置していただきたい。	総合プールやアイスリンクの近接地への合宿用宿泊施設の設置につきましては、利便性が向上すると存じますので、民間活力を生かした整備手法の検討など幅広く研究してまいりたいと存じます。なお、当面は、つなぎスポーツ研修センターの利用率向上に努めてまいりたいと存じます。 （市民部スポーツ推進課）
P 2 ・ 芸術・文化都市条例の制定に向けた市民からの意見聴取を行われたい。	文化振興のための条例を策定しているのは、中核市47市中13市（平成28年10月1日現在、文化庁HP掲載資料）となっております。 また、国においては、文化芸術創造都市の推進を図り、文化芸術の持つ創造性を領域横断的に活用し、自治体や市民（文化ボランティア、アートNPOなど）、企業などと協働による地域の課題解決に向けた取組への支援を進めようとしております。 本市におきましても、芸術文化によるまちづくりの推進を図るため、（仮称）盛岡市芸術文化施策推進指針の策定を進めており、策定に当たり文化芸術団体から意見を聴取しているところです。また、平成29年6月に文化芸術基本法が改正されたことに伴い、平成30年度に（仮称）盛岡市芸術文化推進審議会を設置する予定としておりますことから、これらの活用により芸術文化を通したまちづくりを進めてまいります。 （市民部文化国際室）
P 2 ・ 歩行者用信号機へ待ち時間を示す装置をつけて頂きたい（増加して頂きたい）。	歩行者用信号機の改良など交通規制に関することは岩手県公安委員会の所管事項となっております。歩行者用信号機への待ち時間を示す装置の設置の要望につきまして所轄警察署にお伝えしたところ、「交差点の交通量のほか、横断者の実態等を勘案のうえ設置箇所に

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 2 空き家の再活用や管理を不動産会社と連携して徹底されたい。	について検討してまいります。」とのことでございます。 市といたしましては、歩行者用信号機への待ち時間表示について、横断歩行者の信号無視や無理な横断の抑止が図られ、より横断歩行者の安全性が高まると思われることから、横断歩行者の安全対策として引き続き要望してまいりたいと存じます。 (市民部くらしの安全課) 空き家の管理を不動産会社と連携して行うことにつきましては、市民からの情報提供や空き家等実態調査の結果に基づき、適正に管理されていない空き家等の所有者に対する助言・指導を行う際に、空き家等を巡回するなどの不動産会社による管理サービスの情報を必要に応じて提供しており、また、今年度は不動産関係団体と連携し空き家等に関する無料の相談会を開催しております。 今後も空き家等が適正に管理されるよう不動産会社など関係機関と連携して取組んでまいりたいと存じます。 (市民部くらしの安全課) 〔空き家の再活用については、都市整備部で回答〕
【建設部関係】 P 5 歩行者の安全特に通学路の安全対策を強化するためにゾーン30の計画的な導入を促進されたい。	盛岡市内のゾーン30につきましては、現在、杜陵、本宮、土淵、見前の各小学校周辺に設定されております。警察署にゾーンの設定の考え方について伺ったところ、「学校周辺や通学路は、ゾーンを設定すべき区域の選定の大事な要件のひとつである。」とのことでしたので、今後のゾーン30設定にあたっては通学路を優先的に選定するよう、引き続き所轄警察署に要望してまいりたいと存じます。 (市民部くらしの安全課)

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【環境部関係】 P 2 - 資源再利用を促進するためにストックヤード設置した際に幸捨て場同様の固定資産税減免制度の導入と補助率の増強を図られたい。 P 2 - 地球温暖化防止のための実行ある施策を実施されたい。 P 2 - エネルギー供給先を見直し電気料金の削減を実施されたい。	ストックヤードの固定資産税減免制度の導入につきましては、土地の所有状況や形態を調査しながら、減免について分析を行ってまいります。 また、ストックヤードの助成につきましては、増設数が落ち着いている状況となっており、その原因を分析しながら、今後につきましても地域の要望に応えられるよう、予算確保に努めてまいります。 (環境部資源循環推進課) 盛岡市地球温暖化対策実行計画に掲げる温室効果ガス削減には、市民の理解と協力が必要であることから、「盛岡市環境学習広場（エコアス広場）」や生出地域エコタウン事業の中心的施設である「ユートランド姫神」を活用して各種環境講座を開催するほか、環境パネル展、環境出前講座、環境啓発イベント、地域での懇談会等を引き続き実施し、啓発を図ってまいります。 また、再生可能エネルギー率先導入として、公共施設に太陽光発電システムやペレットストーブの設置を検討するほか、公共施設の照明や地域の防犯灯のLED化等省エネに向けた取組を行ってまいります。 市民への再生可能エネルギーの普及及び省エネ促進事業として、住宅用の太陽光発電システムについて、太陽光発電システム及び蓄電池と併せて平成28年度からホームエネルギーマネジメントシステム(HEMS)も補助対象としており、今後も再生可能エネルギーの効率的な利用を促進する補助制度を実施してまいります。 また、再生可能エネルギー設備設置を検討している事業者につきましては、でき得る限りの支援を行うとともに、その取組を環境啓発事業等で広く市民に周知してまいります。 (環境部環境企画課) 電力供給の見直しを実施し、市庁舎においては平成29年4月からプロポーザル方式により新電気料金に切り替え、小中学校等においても同様に平成30年2月から切り替えることとなっております。この契約変更に伴いまして、従前より1割程度の電力料金の削減を見込んでいるところであります。 (環境部環境企画課)

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 2 エネルギーシフトをはかり、地産のエネルギー自給率の向上を図られたい。	平成29年度に実施した、プロポーザル方式による余剰電力の有効活用と電力供給の見直しの業者選定に当たり、循環型社会の構築に向けたエネルギー地産地消、再生可能エネルギーの普及促進、エネルギーの有効活用等を考慮した上で、市クリーンセンターのバイオマス発電及び市中央卸売市場の太陽光発電による電気の売電と小中学校等への電力供給を同じ事業者とし、地産エネルギーの自給率向上を図ったところであります。 (環境部環境企画課)
P 2 中小水力発電や風力発電、木質バイオマス発電の積極導入やスマートハウスの導入などエネルギー施策の展開と地域活性化の導入策を図られたい。	中小水力発電につきましては、設置可能な適地について関係部署と協議を行いながら、導入を検討してまいります。 風力発電につきましては、環境啓発を目的に公の施設への設置を検討するとともに、平成31年度に稼働予定の民間事業者による姫神山麓での大規模風力発電施設が着工されておりますことから、引き続き事業者に対し支援をしてまいります。 木質バイオマスにつきましては、森林が7割を占める本市において地域特性に適した再生可能エネルギーと認識しておりますことから、発電のほか熱利用も含めた活用を図るため、関係部署と連携し、木質バイオマス利用推進アクションプランを作成し、取り組んでまいります。 また、住宅で使用するエネルギーの管理・標準化を行うスマートハウスは省エネに効果的であることから、平成28年度より住宅用太陽光発電システムの導入と併せて設置するホームエネルギーマネジメントシステムへの補助を実施しており、今後もその普及促進に努めてまいります。 (環境部環境企画課)
P 2 ゴミ処理広域化における新クリーンセンター建設候補地が4か所となった。この間の説明会も踏まえ最終候補地を決定される場合は地域住民の合意を前提とされたい。	県央ブロックにおける新ごみ焼却施設の整備地につきましては、平成29年5月に開催した県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会において4か所の最終整備候補地を決定し、各整備候補地周辺自治会等を対象に、建設場所の決定に向けた住民説明会を行っております。 決定に当たっては、それぞれに対する説明を継続して行い、地域の皆様と対話を重ねながら御理解を得たいと考えております。 (環境部廃棄物対策課)

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【保健福祉部関係】 P 3 ・ 特定不妊治療に対する助成内容の充実をされたい。また市単独での助成上乗せを実施されたい。 P 3 ・ 健康寿命の増進策およびインセンティブの導入を図られたい。 P 3 ・ 介護保険料の値上げを押さえられたい。 P 3 ・ 生活保護の適正な執行をされたい。自立支援の強化とあわせて、不正受給対策を強化されたい。	〔子ども未来部で回答〕 健康寿命の増進策につきましては、平成27年度から平成36年度を計画期間とする「第2次もりおか健康21プラン」の中で、健康づくりの重点項目として「健診受診率を高めるための健康づくり情報の提供」、「食習慣の見直しによるスマートライフの推進」、「毎日プラス10分運動の推進」を掲げ、各種施策に取り組むことにより、健康寿命の延伸を図ることとしております。 インセンティブの導入につきましては、市民の健康づくりを応援する手法として、健康づくりの取組をポイント化し、そのポイントで買物できるような仕組みを検討しているところであり、平成29年度には、健康教室参加者に対しMORIO-Jポイントの付与を行っております。今後におきましても、効果的なインセンティブのあり方について引き続き検討しながら、市民の皆様の健康づくりを推進してまいります。 (保健福祉部保健所健康増進課) 平成30年度から平成32年度を計画期間とする盛岡市高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画におきまして、平成29年度に策定する中で、検討してまいります。 (保健福祉部介護保険課) 生活保護の実施については、受給要件や世帯の生活実態の把握を徹底しているほか、関係機関との連携強化や研修等を通じ、査察指導機能やケースワーク技術の向上を図っております。また、国や県による生活保護法施行事務監査での指導等により事務改善を行うなど、生活保護事務を適正に実施しております。 被保護世帯の自立支援については、公共職業安定所と連携した就労支援や就労支援相談員による求職活動支援を実施しており、就労に向けて課題のある方に対しては、職場体験・ボランティア体験事業により、個々の状況に応じたきめ細やかな支援を実施しております。

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 3 生活困窮者への中間就労支援を実施するための支援をして頂きたい。	また、内丸分庁舎内に「ハローワーク盛岡就労支援コーナー」を設置し、利用者の利便性の向上を図っております。 不正受給対策については、保護開始時に「保護のしおり」を交付し、権利・義務の説明を行っているほか、毎年度、課税状況調査を実施し、受給者全員の収入状況を確認しております。また、年に2回、権利・義務や不正受給防止に関するリーフレットを全保護世帯に送付するなどの防止策を講じております。 今後におきましても、法令や実施要領等に基づき、生活保護を適正に実施してまいります。 (保健福祉部生活福祉第一課・第二課)
P 3 介護施設の増設、定員増を前倒しで進められたい。空き施設などのあっせんなど他の部署との連携を取られたい。	生活困窮者への中間就労支援については、「就労準備支援事業」において、市内8事業所の協力のもと就労訓練を実施しており、中間的就労の機会を提供しております。 制度が発足して3年となり、現在、国において、制度の見直しが進められており、今後の動向を注視しながら取り組んでまいります。 (保健福祉部生活福祉第一課)
P 3 障がい者が地域で暮らせるよう仕組みづくりを講じられたい。特に、障がい者の高齢化に対して、施設設備等の計画を明確にすること。	介護施設の増設等につきましては、第7期介護保険事業計画におきまして、団塊の世代が75歳となる平成37年度を見据え、29年度中及び第7期中に見込まれる、緊急に対応が必要な入所待機者の増加に対応するよう施設の整備を進めてまいります。 空き施設などのあっせんについては、空き店舗等の情報について商店街等と連携し状況把握に努め、適宜に情報を提供してまいります。 (保健福祉部介護保険課、商工観光部経済企画課)
	障がい者が地域で暮らすための仕組みづくりについては、サービス提供事業者や相談支援事業者などとの連携により、支援のネットワークを構築して支援を行っているところであり、今後も充実を図りながら取り組んでまいります。 また、障がい者の高齢化に対する支援については、当事者団体や自立支援協議会等の意見も伺いながら、地域で安心して暮らせるよう、計画的に取り組んでまいります。 (保健福祉部障がい福祉課)

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 3 難病患者に対する各種支援を講じられたい。また癌患者への就労支援を御検討いただきたい。 (保健所)	難病患者に対する支援につきましては、医療費助成制度の利用に係る周知を図るとともに、患者及び家族が、正しく病気を理解し、療養上の不安を解消して安心した療養生活を送ることができるよう、専門医による医療講演や個別相談、当事者同士の情報交換の場である「医療講演・医療相談会」を開催しております。また、保健予防課に療養上の相談窓口も開設しており、保健師が随時相談をお受けしております。 また、「難病医療コーディネーター」（県が岩手医大に委託）と連携した在宅人工呼吸器装着者への定期訪問や、地域の医療・福祉関係機関の連携強化を図るため「在宅難病患者支援事業連絡会」を開催しております。 また、障害福祉サービス、補装具、日常生活用具給付などの地域生活支援事業のサービスについて、関係機関や当事者団体等の協力により、周知を図っております。今後におきましても、支援の推進に努めてまいります。 (保健福祉部保健所保健予防課・保健福祉部障がい福祉課) 〔後段は、商工観光部で回答〕
P 3 動物愛護センターの設置について早急に実施されたい。	動物愛護センターの設置につきましては、これまで他自治体の状況等の情報収集を行いながら、市として必要な規模・機能の検討、市民アンケート等による調査研究を進めてまいりました。また、平成29年6月に県が設置した「岩手県動物愛護のあり方検討ワーキンググループ」にメンバーとして参加し、動物愛護関連施設のあり方について協議検討を行ったところです。その内容を踏まえ、平成29年11月に「動物愛護センターは、県と市との共同設置が望ましい」等を含む提言書が岩手県動物愛護推進協議会より県知事に提出されたところであり、今後、県と具体的な検討を進めることとしております。 (保健福祉部保健所生活衛生課)
P 3 保護動物の怪我や体調不良に対する治療を充実されたい。	犬猫等の愛護動物を保護した場合の治療につきましては、保健所の獣医師が応急処置や投薬等を随時行っております。また、保健所での治療が難しい動物につきましては、岩手県獣医師会に委託しており、平成28年度は犬5頭、猫13頭の治療を実施しております。今後も、獣医師会等の協力を得ながら、保護動物の状態に応じた適切な処置を行ってまいり

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 3 ペットの適正な飼育に対する啓発活動をされたい。	ます。 なお、野生鳥獣を保護した場合の治療につきましては、県央保健所が対応することとなっております。 (保健福祉部保健所生活衛生課) 動物愛護精神とペットの正しい飼い方の普及啓発は、ペットに関するマナー違反や住民間のトラブルに対する解決、保健所における愛護動物の保護・殺処分頭数の減少に繋がるものと考えております。このため、毎年、犬のしつけ方教室や動物愛護フェスティバル等のイベントを開催して動物についての知識や理解を深める活動のほか、広報やラジオ等を通じて正しい飼い方やマナーの向上を呼びかけております。平成29年度には動物愛護団体との共催でイベントを2回開催し、大人も子供も楽しみながら学べる猫の生態や飼い方を紹介した展示や講演を行っております。また、飼い主がいない猫に関する相談を受けた場合には、その地域の住民に対し、不妊手術など繁殖制限をした上でえさやトイレを衛生的に管理する活動（地域猫活動）を支援する等、飼い主がいない猫についても適正飼養の普及に努めております。 今後におきましても、人と動物が共に暮らす、思いやりのある町盛岡を目指し、なお一層動物の適正な飼育の普及啓発に努めてまいります。 (保健福祉部保健所生活衛生課)
P 3 高校卒業認定資格合格者支援事業を実施されたい。	〔子ども未来部で回答〕
【子ども未来部】 P 3 生活困窮支援事業の学習支援を小学生、高校生にも拡大されたい。	生活困窮者を対象とした学習支援については、平成29年度は、中学生を対象に、市内3か所で、月4回の学習会を開催しており、また、中学生・高校生に対しては、就学相談支援事業により、進学や中退防止のための就学支援相談員による訪問型の相談支援を実施しております。

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 3 ・ 不登校やひきこもりの子ども若者に対するアウトリーチ事業を実施して頂きたい。「不登校・ひきこもりセミナー」を実施し啓発活動を実施して頂きたい。	現在、中学生の高校進学に向けた学習支援に重点を置き、事業の充実に取り組んでいるところであり、小学生や高校生に学習支援の対象を拡大することまでは考えておりません。 (保健福祉部生活福祉第一課) 不登校生徒につきましては、不登校生徒等対策相談員を含め、教職員が家庭訪問等をし、生徒の実態に合わせた指導を行っております。 子どもや若者に対するアウトリーチにつきましては、ひきこもり支援に取り組んでいるNPO法人だけでなく、多様な機関による取り組みが有効とのことから、「我が事・丸ごと」モデル推進事業の中で事例検討などを行い、支援方法や啓発活動について検討してまいります。 (保健福祉部地域福祉課，教育委員会事務局学校教育課)

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【保健福祉部関係】 P 3 ・ 特定不妊治療に対する助成内容の充実をされたい。また市単独での助成上乗せを実施されたい。 P 3 ・ 高校卒業認定資格合格者支援事業を実施されたい。	特定不妊治療につきましては、国の制度に基づいて、市の窓口や医療機関などを通じて制度の周知を図りながら、治療費の助成を行っているところであります。市単独の補助金上乗せにつきましては、特定不妊治療支援事業利用者に対し、現在、今後の施策向上の資料とすることを目的にアンケート調査を年度内実施しております。その結果を踏まえて関係機関との協議の上、総合的に勘案しながら検討してまいります。 （子ども未来部母子健康課） 平成28年度に岩手県立大学との協働研究として実施しました「ひとり親世帯の子どもの生活実態に関する調査研究」におきまして、高校卒業程度の認定資格を取るための支援に対するニーズを把握したところであります。 今後、他の自治体の取組などから、事業の効果等を研究してまいりたいと存じます。 （子ども未来部子ども青少年課）
【子ども未来部】 P 3 ・ 児童クラブ未設置地区への早期の対応をされたい。飯岡小学校学区の児童館について複合施設の計画がありその建設は平成31年度となっているが盛南地区の児童増加が見込まれていることから、建設年度までの児童を預け入れる環境整備を図られたい。 P 3 ・ 通年を通じ待機児童の解消を図られたい。	児童センターの未設置学区につきましては、今後の就学児童数の推移や地元からの要望等を踏まえるとともに、用地の確保や建設費等の財政的な問題、市全体としての公共施設の配置のあり方等を考慮しながら計画的に進めてまいります。 飯岡小学校区については、今後児童の増加が見込まれますので、地域の意向を確認しながら、子どもの居場所の環境整備に努めてまいります。 （子ども未来部子育てあんしん課） 平成29年4月1日時点の待機児童数は「ゼロ」となりましたが、5月以降、産休や育休明けあるいは転入などに伴い、年度途中からの保育所の利用希望も増えており、保育所に入ることができない人もおりますので、引き続き保育所の整備や保育所入所円滑化による定員弾力化などを進め、年間を通じた待機児童の解消に努めてまいります。 （子ども未来部子育てあんしん課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 3 子ども食堂など子どもの居場所づくりが広がっているが、様々な地域の年代の方が交流できるような情報提供や啓発をされたい。	子どもの居場所づくりに係る事業について、平成28年度、29年度において、子ども未来基金を活用した「子ども・子育て支援事業補助金」の重点化事業に位置づけ、支援を行っており、11月には、補助金交付を受けた団体の活動報告会を実施し、子どもの居場所づくり事業についても、広く市民、関係団体等に情報提供を行ったところです。 今後におきましても、子ども食堂など子どもの居場所づくりを行っている団体の意見を伺いながら、機会を捉え、様々な地域の年代の方が交流できるような情報提供や啓発を行ってまいりたいと存じます。 (子ども未来部子ども青少年課)
P 3 生活困窮支援事業の学習支援を小学生、高校生にも拡大されたい。	〔保健福祉部で回答〕
P 3 子ども未来基金の周知を積極的に行って頂きたい。	子ども未来基金を活用した「子ども・子育て支援事業補助金」につきましては、平成28年度には6件、29年度は12件の事業に対し補助を行い、11月には、補助金交付を受けた団体の活動報告会を実施し、市民、関係団体等に情報提供を行ったところです。 また、企業等を訪問し、補助事業の説明や寄付を呼びかけたところであり、今後も、より多くの市民、団体に関心を持っていただくため、積極的な周知に努めてまいりたいと存じます。 (子ども未来部子ども青少年課)
P 3 児童虐待に対する市民への啓発を強化して頂きたい。また、受胎時からの切れ目ない支援を実施する体制を強化して頂きたい。	児童虐待に対する市民への周知につきましては、11月の児童虐待防止推進月間を広報「もりおか」に掲載するとともに、保育園や幼稚園、小中学校、各関係施設にポスターやチラシを配布し、周知に努めているところであります。 また、平成30年1月には、平成27年度・28年度に引続き、児童虐待への知識を深めるよう、小・中学校、保育園、幼稚園等の職員を対象とした研修会を予定しておりますほか、民生・児童委員の研修会においても啓発活動を行っております。 子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時に妊婦の社会的な問題等を早期に把握し、早期に対応する体制を整えております。今後も一層、関係機関と連携を取

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 3 不登校生徒に対する野外事業や体験事業を支援されたい。	りながら切れ目のない支援を実施してまいります。 (子ども未来部子ども青少年課・母子健康課)
P 3 子どもの居場所づくりや健全育成に関わる高大学生に対し単位認定や内申書記載などを諮って頂きたい。	〔教育委員会で回答〕 文部科学省は、学校以外の場における活動の成果を幅広く評価できるようにするため、高大学生の、ボランティア活動等に係る単位認定を認めているところであり、多くの学校が単位認定に取り組んでおります。 単位認定基準については、学校の裁量によるところでありますが、子どもと年齢が近く、共通の話題があり話しやすい高大学生が、子どもの居場所づくりや健全育成事業に関わることは、子どもが、学校や家庭以外の大人との関係性や社会性を育む橋渡しとなり、また、高大学生にとっても、成長する機会となりますことから、大変意義があるものと存じますので、機会を捉え学校関係者と意見交換をしてまいりたいと存じます。 (子ども未来部子ども青少年課)
P 3 ひとり親への支援をワンストップで出来る体制を作って頂きたい。	平成29年4月に設置した子ども未来部において、子育て支援に関する部署を集約し、相談や手続きの利便性の向上を図ったところであります。 また、児童扶養手当現況届受付会場において、相談窓口を設置し、母子父子寡婦福祉資金の貸付や親の資格取得に係る事業についての相談に応じたところであり、今後も、ひとり親への支援をワンストップで出来る体制の充実を図ってまいります。 (子ども未来部子ども青少年課)
P 3 不登校やひきこもりの子ども若者に対するアウトリーチ事業を実施して頂きたい。「不登校・ひきこもりセミナー」を実施し啓発活動を実施して頂きたい。	〔保健福祉部及び教育委員会で回答〕

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【市長公室関係】 P 1 国際会議場の設置および国際会議の実績を積んで頂きたい。I L C誘致の効果が仙台市に流れないようにされたい。	国際会議場の設置につきましては、国際会議の誘致に大きなアドバンテージとなり、I L Cの建設や関連施設の整備、研究者の集積など将来的な需要を考えますと、非常に興味深い内容と存じますが、その必要性につきましては、専用施設の需要見通し、施設の設置・運営主体、財源・整備手法、維持管理の問題なども含め、総合的な判断が必要と考えており、調査研究してまいりたいと存じます。 また、国際会議の誘致についてであります。本市は会議・宿泊施設などのハード面やコンベンションビューローなどソフト面の体制が整備されているほか、平成27年度にM I C E開催助成制度を創設したところであり、国際会議の開催環境は整っているものと存じておりますことから、今後におきましても、盛岡観光コンベンション協会や関係団体などと連携し、訪日外国人旅行客の受入態勢の整備を図りながら、国際会議の誘致促進に努めてまいりたいと存じます。 （商工観光部観光交流課） 〔後段は市長公室で回答〕
【保健福祉部関係】 P 3 介護施設の増設、定員増を前倒しで進められたい。空き施設などのあっせんなど他の部署との連携を取られたい。	介護施設の増設等につきましては、第7期介護保険事業計画におきまして、団塊の世代が75歳となる平成37年度を見据え、29年度中及び第7期中に見込まれる、緊急に対応が必要な入所待機者の増加に対応するよう施設の整備を進めてまいります。 空き施設などのあっせんについては、空き店舗等の情報について商店街等と連携し状況把握に努め、適宜に情報を提供してまいります。 （保健福祉部介護保険課、商工観光部経済企画課）
P 3 難病患者に対する各種支援を講じられたい。また癌患者への就労支援を御検討いただきたい。	〔前段は保健福祉部で回答〕 がんなど長期療養が必要な方々の就職を支援するために、盛岡公共職業安定所において、就職支援ナビゲーターを配置し、個々の患者の希望や治療状況を踏まえた職業相談・職業紹介等の就職支援を行っております。また、がんなど疾病を抱える労働者に対しては、独

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【商工観光部関係】 P 4 空き店舗対策の拡大と屋守事業などの仲介事業を市の事業として行えるよう、街中再生にむけた支援策を講じられたい。また、テーマ性をもった活用も考えていただきたい。	立行政法人労働者健康安全機構が設置する岩手産業保健総合支援センターにおいて、治療と職業生活の両立に向けた支援を行っておりますことから、市に相談があった際は関係機関につなげてまいります。 (商工観光部経済企画課)
P 4 障がい者や癌など治療中の方々の雇用を促進するための対策を講じること。	現在、空き店舗対策として、中心市街地エリアで空き店舗を活用し、新たに開業する方に改装費の一部助成を行っているところですが、平成29年度は、当該助成を受けた方のうち、盛岡産農産物や地域産業資源を活用する事業又はものづくりを営もうとする場合の仕入れに係る費用の助成も行っております。なお、空き店舗対策において、商店街としての魅力向上も重要な要素の一つであることから、商店街等へのコンサルタントや講師の派遣のほか、盛岡市商店街連合会を通じたイベント支援、街路灯電気料補助、情報発信支援なども行っているところです。 家守事業などの仲介事業については、民間活力による事業運営が望ましいと考えており、商店街等と連携し、空き店舗情報の提供を行いながら、街なか再生につながるよう努めてまいります。 また、テーマ性をもった活用につきましては、活用情報の収集に努めるとともに、商店街等との意見交換を通じて、対応してまいりたいと存じます。 (商工観光部経済企画課) 岩手労働局・県と連携し商工団体等に対して、障がい者の雇用の場の確保を要請しているほか、岩手労働局等が主催する「障がい者雇用関係情報交換会並びに障がい者就職相談会」を後援し、障がい者の雇用促進に努めております。 また、がんなど長期療養が必要な方々の雇用を促進するために、盛岡公共職業安定所において、長期療養者の希望する労働条件に応じた求人の開拓、求人条件の緩和指導を行っておりますことから、関係機関と連携して事業所への周知に努めてまいりたいと存じます。 (商工観光部経済企画課)

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 4 ハローワークと連携した能力向上訓練の内容を充実して頂きたい。その事業の周知をされたい。	盛岡地域職業訓練センター等において実施されている公共職業訓練や求職者支援訓練等については、求職者等のニーズに応じて行われているものと存じております。事業の周知につきましては、これまでチラシの配架等により行ってきたところですが、市ホームページの活用などにより強化を図ってまいりたいと存じます。 (商工観光部経済企画課)
P 4 中卒者、高校中退者へ学習支援や高等教育機関入学支援の実施を検討されたい。	中卒者、高校中退者に対する学習支援や高等教育機関への入学支援は直接的には実施しておりませんが、若者サポートステーションや関係機関等との連携による就労に向けた支援のあり方を研究してまいります。 (商工観光部経済企画課)
P 4 中小企業振興条例の制定を行い、中小企業振興を実効あるものにされたい。	中小企業振興条例の制定につきましては、市内事業者による共通認識の醸成が重要であるとの認識のもと、岩手県が策定した中小企業振興基本計画の内容も踏まえ、引き続き関係団体との意見交換を継続してまいりたいと存じます。 また、平成29年度には、卸売業や小売・サービス業等の振興施策に関する基本的な方針及び計画となる「盛岡市商業振興ビジョン」策定を進めるとともに「盛岡市工業振興ビジョン」の見直しを進めており、中長期的な戦略や方向性を明らかにし、実現性の高い振興施策を体系的、計画的に推進することにより、中小企業の振興を図ってまいります。 (商工観光部経済企画課)
P 4 中心市街地のみではなく、バランスの良い街づくりの為の対策を講じられたい。	[都市整備部で回答]
P 4 玉山地区を含む北東部地域の振興の為、工業団地の整備を促進されたい。	玉山地域区を含む北東部地域の振興は、当市のバランスのとれた発展を図る上からも重要であると認識しており、玉山地域を含め当市の工業団地整備を促進するため、平成27年度に実施した団地候補地の基礎調査や企業の整備用地への立地に関する適地調査等の結果を基に、平成28年度において、「盛岡市新産業等用地整備基本計画」を策定し、道明地区及び狐沢・岩鼻地区を整備候補地に選定したところです。現在、道明地区の産業等用地整備

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 4 観光における二次交通（バス、タクシー・レンタル自転車）利用促進策を講じられたい。	に取り組んでおりますが、狐沢・岩鼻地区につきましては、平成31年度以降に調査事業を実施し整備の可否を判断することとしております。なお、不足する工場用地確保するため、渋民野球場を平成29年11月1日で廃止し、工場用地として売却するための手続きを進めているところです。 （商工観光部ものづくり推進課）
P 4 一日観光切符など鉄道・バス・観光施設一体となった切符を発行して頂きたい。	J R 東日本や旅行会社の企画商品として、観光の目的地などでバスやタクシーを低料金で利用できるプランがありますが、今後も観光客のニーズに対応した商品開発を旅行会社などに働きかけるとともに、新規路線の可能性を含めた検討などをバス・タクシー事業者に働きかけてまいります。 また、市内には、盛岡観光コンベンション協会をはじめ複数のレンタサイクルの貸出拠点がありますが、「歩いて楽しむまち」や「まちなか観光」の推進に向けて、これらの P R に努めてまいります。 （商工観光部観光交流課）
P 4 石川啄木を通じた、函館市・文京区との連携や友好関係の締結を促進されたい。	市内の一日観光を楽しめる旅行商品としては、J R 東日本やバス事業者、旅行会社などの企画商品がありますほか、市内の観光スポットなどをエリア別・テーマ別に紹介しており、これらの観光スポットを回る交通手段として、盛岡都心循環バス（でんでんむし）や「盛南ループ 200」などが運行されており、都心循環バスは1日に何度でも利用できる一日フリー乗車券も販売されているほか、この2路線を含む既存バス路線を活用した企画乗車券も販売されております。今後におきましても、市内観光を手軽に楽しめる商品の開発をバス・タクシー事業者や旅行会社に働きかけてまいります。 （商工観光部観光交流課）
P 4 つなぎ温泉の活性化や観光業の活性化を図られたい。	〔市長公室及び教育委員会で回答〕 つなぎ温泉の活性化に向けて、つなぎ温泉観光協会の活性化事業への支援を行っており、同協会では、広告宣伝のほか、御所湖まつりや御所湖一周ウォーキング大会の開催、鶯宿

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 4 産業まつりを盛大に開催されたい。工業系を合体させて広い会場で実施されたい。	温泉との共同企画事業などを実施しております。また、平成25年8月に発生した大雨被害では、同温泉の宿泊施設等が甚大な被害を受けたことから、県と連携し、被害を受けた施設設備等の復旧支援事業や災害復興事業を実施したところであります。 今後におきましても、つなぎ温泉観光協会との連携を一層強化し、温泉を活用した足湯、手湯のほか、トマトの栽培や温泉卵の製造体験など、新たな観光振興の取組を広く発信するとともに、つなぎ地区の活性化に向けて、地域の皆様とともに取り組んでまいりたいと存じます。 (商工観光部観光交流課)
P 4 大型の山車が運行できるよう信号機や電線のあり方を検討されたい。	産業まつりは、盛岡地域の地場産品や盛岡ブランド認証品の宣伝啓発、市民の支持による地場産業の普及促進を目的に開催しており、広く市民及び消費者の一層の理解と支持を高め、地場産業の活性化とともに、特産品の消費拡大に努めているところであります。 また、産業まつりにおいて平成28年度から工業系の地場企業の紹介をするブースを設置し、市内に立地する企業の事業内容や技術の紹介に取り組んでおり、平成29年度も2社の地場企業の紹介をしたところであります。 工業系の出展につきましては、地場企業の製品や事業内容について市民等に理解・認識を深めていただくことで、盛岡市広域の優秀な人材の首都圏等への流出を防ぎ、市内における人材の確保・定着や新たな市場開拓、販路の拡大が期待できるものでありますことから、費用対効果等を勘案しながら検討してまいりたいと存じます。 (商工観光部ものづくり推進課)
【都市整備部関係】 P 5 盛岡バスセンターの賑わい拠点としての再生を進めて頂きたい。	[建設部で回答] 盛岡バスセンター再整備事業につきましては、バスターミナル機能と賑わい機能を持つ安全・安心な施設として整備し、バスターミナル機能を維持するとともに、中心市街地活

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
	性化及び河南地区の賑わい創出を図ることを目的としています。 再整備事業の検討に当たっては、市民の皆様をはじめ、バス事業者や関係機関のご意見も踏まえながら、検討してまいります。 なお、再整備までの期間におきましては、仮設乗降施設の設置により、バスターミナル機能を確保しているところでございます。また、再整備予定地の一部を地元商店街等で構成される団体に貸し出し、「地域活用ゾーン（愛称：SIDE-B）」として賑わいの創出に資するよう活用を図っております。 （商工観光部経済企画課，建設部交通政策課，都市整備部市街地整備課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【農林部関係】 P 4 新規就農者の確保をされたい。	新規就農者につきましては、平成24年度から28年度までの5年間の新規就農者69人のうち、農業次世代人材投資資金の取組により18経営体、29年度新設した市の親元就農給付金の取組により3経営体の就農に結びついております。 また、先輩新規就農者等の現地見学と情報交換を23年度から実施しており、これまで47人が参加しております。 今後は、これまでの支援を継続していくほか、県農業公社の新・農業人フェア(就農相談会)や農業改良普及センターと連携し、就農相談や情報提供などに努めてまいりたいと存じます。 (農林部農政課)
P 4 林業振興策や森林の活用策をしめされたい。	林業振興策につきましては、市内の森林は利用期を迎えているものが多いことから、公共施設整備や公共工事等への市産材の積極的な利用、木質バイオマス燃料への利用推進、市産材利用住宅への助成、並びに、町内会等への市産材の支給などにより、市産材を中心とした木材の需要拡大を図ってまいります。また、森林資源の循環を促すためには、伐採後の再造林が重要となりますので、再造林に対する補助率の増額を検討するなど、再造林率の向上に努めてまいります。 森林の活用策につきましては、市では、外山森林公園、都南つどいの森及び平成市民の森を整備しており、森林散策など市民の憩いの場としての利用や、子どもたちや市民の森林環境教育の場として引続き活用してまいりたいと存じます。 (農林部林政課)
P 8 6次産業化を強化されたい。農家レストランや農家民泊を推進する施策の実施を求める。生産品の販売網の開拓や強化とあわせてまた、高付加価値品の栽培を検討されたい。	6次産業化の強化につきましては、「盛岡市農業まつり」の開催や、産地直売所の集客と周知を目的としたイベントを実施するほか、農林部と教育委員会との連携による「いものこ給食の日」学校給食の会を開催し、地産地消の推進による地元産農産物の消費拡大と食の重要性や農業への理解を図っていることから、今後も関係機関、団体等との連携に努めてまいりたいと存じます。

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 8 農業と福祉分野の連携を促進されたい。高齢者の生きがいと農業の連携を推進されたい。	また、地場産品を活用した商品を首都圏のフェアで紹介するなどの取組を推進するとともに、平成29年度からは、「もりおかの食と農バリューアップ推進事業」において、生産者と食品加工・製造業や飲食・サービス業などの食関連産業事業者の連携により、6次産業化等を通じた新たな商品開発により、盛岡産農畜産物の高付加価値化を図ることとしており、地産地消をベースに、地域の雇用や活性化につながる6次産業化の推進に、引き続き取り組んでまいりたいと存じます。 農家レストランや農家民泊につきましては、取り組んでいる農家もごさいますが、関係機関や団体等で組織する盛岡市グリーン・ツーリズム推進協議会において、関係機関等との情報収集に努めてまいりたいと存じます。 また、付加価値の高い農作物の導入に関しましては、農業協同組合や農業改良普及センターと検討し、推奨してまいりたいと存じます。 （農林部農政課）
P 8 福祉や教育、コミュニティー形成のための事業に利用する場合、遊休地、耕作放棄地を斡旋する仕組みを検討されたい。	農業と福祉分野の連携の促進につきましては、障がい者の自立支援、雇用の場の創出などを行う自立支援施設などに耕作放棄地等の情報提供を行うことや、土地所有者との利用調整などを支援することにより、耕作放棄地の解消にも繋がることから、今後とも農業と福祉分野の連携を図ってまいりたいと存じます。 高齢者の生きがいと農業の連携につきましては、市内10箇所に「市民農園」を開設して作物を育て収穫していただく体験を行っておりますほか、地域の共同活動として行われている多面的機能支払制度への参加など、地域資源の維持管理事業等に積極的に取り組んでいただけるよう促してまいりたいと存じます。 （農林部農政課） 遊休地、耕作放棄地においても、福祉や教育、コミュニティーにおける事業展開をするにあたっては、都市計画法や各種法の制約がありますことから、具体的事案に沿って対応してまいりたいと存じます。 （農林部農政課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 8 スマート農業の促進を図られたい。	スマート農業の促進につきましては、ロボット技術やＩＣＴ（情報通信技術）などの先端技術を活用した省力化や生産性の向上を期待しているところであります。先端技術を取り入れた機械の展示や実演の機会も増えてきておりますが、安全性確保の状況を注視しながら、国の補助事業の動向等、情報収集してまいりたいと存じます。 （農林部農政課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【中央卸売市場】 P 4 卸，仲卸の経営実態を的確に把握されたい。	卸，仲卸の経営実態の把握につきましては，業者から毎月提出される売上・取扱高・残高試算表などの月例報告や，決算に係る事業報告などの年次報告により，経営状況を把握するとともに，指導を行っております。更に，公認会計士に財務検査の一部を業務委託し，専門的見地からの指導を行っております。今後におきましても，適正かつ健全な運営及び市民や出荷者，買受人からの信頼性の確保を図るため，卸・仲卸業者の経営実態の適正な把握と指導に努めてまいります。 (中央卸売市場業務課)
P 4 市場活性化ビジョンを着実に実行されたい。	市場活性化ビジョンの実行につきましては，平成29年3月に「市場活性化ビジョン2017」を策定し，「集荷・販売力の強化」，「市場経営力の強化」及び「市場の役割・魅力の発信と食育の推進」の3つの基本戦略実現のため，各取組項目の行動計画に従って開設者と場内業者が一体となって取り組んでいるところです。今後とも，市場活性化ビジョン推進委員会において進行管理しながら，場内業者の経営向上と市場経営の健全化に努めてまいります。 (中央卸売市場業務課)
P 4 空き施設の活用と家賃収入を確保されたい。	これまで関係団体の協力を得ながらPRと情報収集を行い，未利用施設の有効活用に努め，平成28年度から新たに業者事務室1室を貸し付けしており，平成29年度には，市場の敷地を利用した民間施設建設の計画が進んでおり，行政財産収入を見込んでおります。今後におきましても，市場業務に関連する入居者や施設の目的外使用も視野に入れながら，引き続き有効活用できるよう努めてまいります。 (中央卸売市場業務課)
P 4 他市場の改革成功例を取り入れ市場の活性化に取り組んでいただきたい。	市場の活性化につきましては，平成29年3月に策定した「市場活性化ビジョン2017」に基づき，他市場との情報交換により得た事例を取り入れ，場内業者と協議しながら，一丸となって取り組んでまいります。 (中央卸売市場業務課)

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【商工観光部関係】 P 4 大型の山車が運行できるよう信号機や電線のあり方を検討されたい。	山車につきましては、市内一円を巡行するため、一般道における構造物等の高さ制限を受けるところもあり、大型の山車運行については、これら構造物の撤去等の費用が必要となりますことから、観光政策としての考え方を踏まえて研究してまいりたいと存じます。 （建設部道路管理課）
【建設部関係】 P 4 市営住宅における家賃の適正な納入を促進されたい。市営住宅の保証人制度について住宅困難者が入居できる様、見直しをされたい。	住宅使用料等の収納率の向上を図り、市営住宅の安定した運営と入居者の負担の公平性を確保するため、滞納者に対して文書催告や、夜間・休日を含めた電話催告及び訪問催告を実施して納付指導を行っているほか、必要に応じて民事調停等の法的措置を講じております。また、市営住宅等退去者滞納家賃等収納業務委託や平成26年度における滞納整理専門員の配置により納付勧奨等を強化しているとともに、平成27年度にはコンビニエンスストア収納の導入により納付機会の拡大を図っているところであり、今後とも家賃の適正な納入の促進に努めてまいります。 市営住宅の保証人制度につきましては、市営住宅の安定した運営と入居者の負担の公平性を確保するためにも保証人は必要であると考えておりますが、他都市の状況等も踏まえながら検討してまいりたいと存じます。 （建設部建築住宅課）
P 4 市道日戸柴沢線の常光寺より先の拡幅整備、また日の出橋の前後の道路整備を実施されたい。	〔玉山総合事務所で回答〕
P 5 市道津志田白沢線の矢巾町境からの道路建設を促進されたい。	都市計画道路 津志田白沢線につきましては、国道4号と連絡するネットワークを形成するよう、接続する東西方向の道路と一体となった整備に取り組んでおります。

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 5 中心市街地における使い易い駐輪場の増設を図られたい。	事業区間は、都南文化会館南側から南側約300m区間で、平成22年度から事業に着手しており、現在は、事業区間南側の用地交渉を進めているところでございます。 また、本路線は市と矢巾町を結ぶ主要な道路の一つと存じておりますことから、連携中枢都市圏形成のネットワークの強化を図る取組みとして位置づけられており、南側の未着手の区間の整備についても、都市計画道路整備プログラムの見直しにより、平成32年度までに着手することとしております。 (建設部道路建設課)
P 5 田沢湖線前潟駅の着工をされたい。	市では、平成20年4月1日施行の「盛岡市自転車の安全利用及び利用促進並びに自転車等の放置防止に関する条例」を受け、平成20年度に大通地区にパーキングチケットエリア等を活用した駐輪場を3箇所設置したところです。 今後も、商店街や事業所の協力をいただきながら、放置禁止区域の拡大も視野に入れ、駐輪場の整備に取り組んでまいります。 (建設部交通政策課)
P 5 I G R 下田駅の早期着工を図られたい。	田沢湖線前潟駅につきましては、平成24年度にJ R 東日本に基本計画調査を委託し、新駅想定乗車人員は見込まれるとの調査結果を得ておりますが、開業設備費を含めた総事業費が多額となり、事業費の確保が課題となっていることから、課題解決に向けて引続きJ R 東日本のほか関係機関等と協議してまいるとともに、平成29年度に実施する概略設計において算出する高精度の駅施設整備費と、別途検討している整備効果検証を基に、事業化の判断をしてまいりたいと存じます。 (建設部交通政策課)
	I G R 下田駅につきましては、見込まれる利用者数が少ないことと事業費の確保が課題となっており、今後の事業のあり方について、住民の意見を伺うため、平成27年4月、5月及び11月の3度にわたり地元懇談会を開催したところです。 今後も地元の意見を踏まえ、新市建設計画に位置付けの他事業の精算を加えながら、新駅設置の可能性について検討してまいりたいと存じます。 (建設部交通政策課)

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 5 仮称南仙北駅の総合計画への格上げを図りたい。	岩手飯岡駅と仙北町駅間の新駅の設置につきましては、公共交通機関へ転換しやすい環境づくりのための取組として市総合交通計画に新駅設置の可能性の検討を位置付けておりますが、もりおか交通戦略では長期的な課題としており、今後、周辺の市街化の状況等を踏まえながら検討してまいりたいと存じます。 (建設部交通政策課)
P 5 山田線の社会実験を成功されたい。また宮古市と活性化協議会をつくり活性化や国の補助金の導入、観光活用についても盛岡市が主導で実施されたい。	J R 東日本盛岡支社と市が連携して取り組んでいる山田線の社会実験につきましては、目標としていた1日あたり増加乗車人員数200人を達成することができなかったため、平成29年3月をもって社会実験は終了いたしました。今後につきましては、社会実験を通じて結成された「J R 山田線ファンクラブ」などの地域でのマイレール運動の支援を継続し、山田線の利用促進に結び付けていきたいと存じます。 また、活性化協議会の設置につきましては、県、宮古市の動向を踏まえながら、必要に応じて検討してまいるとともに、宮古までの増発や観光活用につきましては、庁内関係機関観光交流課と連携し、機会を捉えながらJ R 東日本に要望してまいりたいと存じます。 (建設部交通政策課)
P 5 東北本線の活性化（I G R と相互乗り入れ）や701系電車で転換クロスシートの設置、増結を要請されたい。	相互乗り入れにつきましては、事業者間の費用負担の課題があると伺っております。 また、転換クロスシートにつきましては、J R 東日本からは、701系電車は、朝夕の通勤通学の混雑時にできるだけ多くの方に乗車いただき、スムーズな乗降ができるようにロングシートとしており、保有車両を最大限活用している現状では、混雑時と日中を区別して運用することが困難なため、転換クロスシート化、増結は難しいと伺っております。 (建設部交通政策課)
P 5 I G R の車両更新には転換クロスシートの導入を促されたい。	転換クロスシートの導入につきましては、I G R からは、今後の車両更新時に検討を行ってまい旨伺っております。 (建設部交通政策課)

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 5 仙北町駅橋上化の早期実現。	仙北町駅の橋上化につきましては、整備に多額の費用やＪＲ東日本との費用負担等の課題もあり、引続きＪＲ東日本と相談してまいりたいと存じます。 (建設部交通政策課)
P 5 狭隘道路の改良の促進。	幅員が４ｍ未満の市道につきましては、地元が主体となって進める、「狭あい市道整備促進事業制度」があります。拡幅用地の寄附が前提となりますが、その拡幅用地における測量及び物件移設等の経費に対し、補助金を交付する制度ですので、活用等については、道路管理課までご相談いただきたいと存じます。 (建設部道路管理課)
P 5 高齢者の買い物支援等のためのコミュニティーバスを導入されたい。また、バス停の原則すべてのバス停にベンチを設置するために隣接民有地と固定資産税の減免や提供者へ表彰する制度の創設等ベンチ用地の確保策を促進されたい。バス停の間隔が空いている区間には中間のバス停を増設していただきたい。	高齢者の支援等を含めた交通手段につきましては、平成30年度に策定予定の地域公共交通網形成計画のなかで、持続可能な公共交通ネットワークの検討を行ってまいりたいと存じます。 また、すべてのバス停へのベンチの設置につきましては、設置空間及び財源の確保の課題もあり、困難ではありますが、利用者の多いバス停につきましては、バス停上屋と合せての設置や、地元の協力も頂きながら、今後も取組んでまいりたいと存じます。バス停用地として民有地を提供いただいた場合、これまでも固定資産税の減免等を行っておりますが、表彰制度につきましては、市としての表彰制度はないもののバス事業者が感謝状の贈呈を行った例がありますことから、今後バス事業者に相談してまいりたいと存じます。 また、バス停間隔が長い区間へのバス停増設につきましては、バス事業者と相談してまいりますが、現地の状況により安全面から公安委員会や道路管理者等から同意いただけない場合もございますので御理解願います。 (建設部交通政策課)
P 5 国道46号線の盛岡から秋田県境までの高規格化をされたい。	国道46号線は、地域高規格道路「盛岡秋田道路」の一部として位置づけられており、岩手・秋田両県の広域地域間交流促進のため、これまでも国に対し早期整備を要望しているところです。今後も沿線自治体で構成する国道整備促進期成同盟会を通じて、機会を捉えながら地域高規格道路化を国に要望してまいりたいと存じます。 (建設部道路管理課)

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 5 歩行者の安全特に通学路の安全対策を強化するためにゾーン30 の計画的な導入を促進されたい。 【都市整備部関係】	〔市民部で回答〕
P 5 盛岡バスセンターの賑わい拠点としての再生を進めて頂きたい。	盛岡バスセンター再整備事業につきましては、バスターミナル機能と賑わい機能を持つ安全・安心な施設として整備し、バスターミナル機能を維持するとともに、中心市街地活性化及び河南地区の賑わい創出を図ることを目的としています。 再整備事業の検討に当たっては、市民の皆様をはじめ、バス事業者や関係機関のご意見も踏まえながら、検討してまいります。 なお、再整備までの期間におきましては、仮設乗降施設の設置により、バスターミナル機能を確保しているところでございます。また、再整備予定地の一部を地元商店街等で構成される団体に貸し出し、「地域活用ゾーン（愛称：SIDE-B）」として賑わいの創出に資するよう活用を図っております。 （商工観光部経済企画課、建設部交通政策課、都市整備部市街地整備課）
P 5 岩山公園整備について総合的な岩山地区活性化計画を推進して頂きたい。道路整備や旧漆芸美術館の活用を推進されたい。また、盛岡市動物公園の活性化を図られたい。	岩山公園につきましては、平成24年度に作成した「岩山公園整備基本計画」に基づき整備を進めておりますが、さらに岩山エリア全体の活性化を目指し「岩山エリア公民連携事業基本計画」の策定を予定しております。 道路整備につきましては、平成22年度より市道岩山2号線の旧漆芸美術館周辺、約750メートルの区間について歩道新設事業を実施しており、新庄浄水場側180メートルの整備が済んでおります。今後も残区間の整備促進に努め、早期の事業完了に向けて取り組んでまいります。 旧漆芸美術館の活用につきましても、岩山エリアの活性化に向けた取組の一環として検討してまいります。

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【上下水道局関係】 P 6 災害に対する対策を強化されたい。国土交通省や県と連携した洪水対策の強化や堤防の整備を促進や内水処理対策を示されたい。	また、盛岡市動物公園につきましては、今後財政負担増が見込まれるため、民間ノウハウを活用することで財政負担軽減を図りつつ、市民が誇りに思える動物公園を創造することを目的に、公民連携事業を推進してまいります。 （都市整備部公園みどり課、建設部道路建設課、総務部管財課）
P 6 松川の安全対策を講じるよう県に働き掛けられたい。	急傾斜地崩壊等を含む土砂災害対策につきましては、県が実施する土砂災害防止工事等によるハード対策と併せ、市といたしましても、県と協力しながら土砂災害警戒区域等の指定に向けた取り組みを行うとともに、ソフト対策として土砂災害に関する情報の伝達方法、避難地に関する事項等の周知を図るため、区域指定された箇所ごとの土砂災害ハザードマップの作成及び配布を行い、引き続き、市民の安心・安全な暮らしを確保するよう努めてまいります。 また、洪水対策の強化や堤防の整備につきましては、国におきましては「北上川水系河川整備計画」に基づく北上川、中津川、雫石川の河川整備事業や、四十四田ダムと御所ダムの連携した操作、河川・ダムの適正な維持管理を行っているところでございます。 岩手県におきましても、盛岡西圏域、盛岡東圏域の河川整備計画に基づき木賊川や南川などの河川改修等の事業を実施しており、北上川（県管理区間）及び松川につきましては、盛岡北圏域の河川整備計画が平成27年9月に策定され、平成27年度より事業に着手し、整備を進めているところでございます。 市といたしましても、国や県と連携しながら、河川整備計画に併せて内水対策を検討するとともに、定期的なパトロールによる状況把握や市民からのご要望を踏まえながら、市民の安全・安心な暮らしを確保するため、河川の洪水対策に取り組んでまいりたいと存じます。 （建設部河川課） 松川の安全対策につきましては、県において平成27年9月に策定された盛岡北圏域の河川整備計画に基づき整備されることとされており、平成27年度より事業に着手し、平成29

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
	年度は用地測量や用地買収，物件補償を進める予定としております。 市といたしましては，松川の事業促進について県へ要望しているところであり，今後も引き続き，統一要望などの機会を捉えながら要望してまいりたいと存じます。 （建設部河川課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【市民部関係】 P 2 空き家の再活用や管理を不動産会社と連携して徹底されたい。	空き家の再活用に係る不動産業者との連携についてであります。平成24年12月に、社団法人岩手県宅地建物取引業協会及び社団法人全日本不動産協会岩手県本部と「盛岡市空き家等バンク制度運用に関する協定」を締結しており、空き家バンクの利用希望者からの要望に応じ、各協会に加盟している業者を紹介することとしております。 また、国土交通省において、平成29年度より、全国の空き家等の検索が可能な空き家バンクシステムの試行運用を開始し盛岡市も参加しているほか、地方自治体と宅地建物取引業者等の連携による空き家等の有効活用等への支援を行っておりますことから、今後、その内容を踏まえながら関係機関や社団法人岩手県宅地建物取引業協会及び社団法人全日本不動産協会岩手県本部と相談してまいりたいと考えております。 （都市整備部都市計画課） 〔空き家の管理については、市民部で回答〕
【商工観光部関係】 P 4 中心市街地のみではなく、バランスの良い街づくりの為の対策を講じられたい。	本市のまちづくりの目標は、総合計画の基本構想における世界に通ずる「元気なまち盛岡」の実現を目指しており、この目標を踏まえた都市形成の進め方は、周辺の丘陵地や森林を保全し、中心市街地活性化基本計画に基づく中心市街地の充実を図るとともに、適切な機能分担に基づき、現都心から盛岡駅西口地区及び盛岡南新都市地区において相互に連担する都心を形成し、その周辺には住宅地や農用地を配置することにより、県都及び北東北の拠点都市としての施策をバランスよく実施しているところです。 また、各地域におけるまちづくりにつきましては、ワークショップ等を踏まえて策定した都市計画マスタープラン地域別構想に基づき、各地域のまちづくりの目標を定め、具体的施策の実施に努めております。 さらに、各地域のまちづくりにつきましては、まちづくり懇談会等を通じて地域の皆様との話し合いを行うとともに、地域住民の方々による自主的なまちづくり活動に対して支援しているところであり、今後とも、市民協働の取り組みを行いながら、本市のまちづくりを進めてまいります。 （都市整備部都市計画課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【都市整備部関係】 P 5 - 内丸官庁街の再開発計画を策定して、県をはじめ各施設管理者との話し合いを始めていただきたい。 P 5 - 人口減少時代に促した都市計画の修正を進めていただきたい。 P 5 - 盛岡城の再建とあわせて下の橋側の民有地を買収して公園化をされたい。 P 5 - 松園団地や桜台団地、湯沢団地などの団地の	内丸官庁街につきましては、市民の利便性、公務の能率、土地の高度利用を図るために「一団地の官公庁施設」として都市計画決定されており、この都市計画施設は、今後も必要なものとして継続されるべきものと考えます。 団地内の建物及び土地利用に関しては、今後の経年変化による建替えなどに応じて、各施設管理者と協議調整を図っていく必要性がありますことから、今後も情報収集に努めるとともに、適宜、国・県との協議調整を図ってまいりたいと考えております。 (都市整備部都市計画課) 本市が平成27年10月に策定した人口ビジョンでは、本市の将来人口は減少すると予測しております。 平成21年度に見直しを行いました「盛岡市都市計画マスタープラン」におきましても、人口減少社会の到来を受け、市街地の周辺部への拡大を規制するとともに効率的で機能的な土地利用を基本としたコンパクトな市街地の形成を図ることとし、それに合わせて、コミュニティの保全や地域の特徴を活かしたまちづくりなどを行うこととしております。 (都市整備部都市計画課) 盛岡城跡の歴史的建造物の再建につきましては、平成24年度に策定した「史跡盛岡城跡整備基本計画」に基づき、平成34年度以降に二階櫓や吹上門などの復元と、長期的な取組として天守（三階櫓）の復元を検討することとしており、復元に向けて各種資料調査・収集に取り組んでいるところであります。 また、下ノ橋側の公園整備につきましても、上記基本計画に基づき、米内蔵周辺地区としまして、彦御蔵整備活用や周辺建物と樹木等の整理を進めることとしております。隣接する民有地の一部は公園区域となっておりますが、都市計画道路「盛岡駅南大通線」の計画区域もありますことから、この道路の今後の方向性と併せて検討してまいりたいと考えております。 (都市整備部公園みどり課) 松園団地や桜台団地、湯沢団地などの郊外における団地におきましては、開発からの年

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
活性化策を講じられたい。	数経過に伴い、少子高齢化と人口減少や空き地、空き家の課題が生じてきていることから、これまで地域の皆様との話し合いを行いながら、公共交通利用促進や松園団地においては用途地域の見直しなどの取り組みを行ってまいりました。 また、本市では、全国7都市で構成する「ふるさと団地元気創造推進協議会」により国に対して、郊外団地の活性化の政策について提言を行ってまいりました。 平成24年度からは、空き家等の利活用を促し、地域の活性化を図るため、松園ニュータウンにおいて社会実験として「盛岡市空き家等バンク制度」を開始し、平成27年度には範囲を市街化区域に拡大したところです。また、平成28年3月に「盛岡市空き家等対策計画」を策定し、空き家等の適正管理と有効活用に関する施策を計画的に実施することとしているところです。今後におきましても、空き家対策を進めながら、地域の活性化を図ってまいりたいと考えております。 （都市整備部都市計画課）
P 5 ・ 盛岡南公園の南側敷地（草むら部分）をスポーツグラウンドとして整備して頂きたい。	盛岡南公園の公園事業につきましては、平成19年度で現開設区域の整備を完了し、現在は休止中としているところであります。御要望の南側の箇所につきましては、健康広場としての整備が終了しており、スポーツグラウンドとしての再整備は難しい状況となっておりますので、御理解をお願いいたします。 （都市整備部公園みどり課）
P 5 ・ 新たな土地利用をする地域での電線地中化や景観意匠施策、地中熱利用による融雪対応、自然エネルギーの導入など環境配慮した住宅街を形成するためのモデル地区をつくられたい。	大規模な宅地開発など、新たな土地利用の相談があった場合は、景観・環境に配慮した地区計画の決定などの提案を行ってまいります。 なお、住宅地における電線地中化につきましては、大慈寺地区において、歴史的景観を保全し、形成を図るため、平成24年8月に都市計画法に基づく景観地区に指定するとともに、地区計画を定め、その「公共施設等の整備の方針」の中では、「特にも多くの町家などが連担している市道南大通二丁目南大橋線は、景観上も重要な路線であることから、無電柱化などにより歴史的景観に配慮した整備を図る」こととしております。 （都市整備部都市計画課・景観政策課）
P 5 ・ 景観力が向上するような施策を展開されたい。違法看板への対応を強化されたい。	平成21年度に景観計画を策定し景観施策を進めてまいりましたが、状況の変化により改善すべき点が出てきましたので、良好な景観形成をさらに促進するため、眺望景観保全地

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
	域の追加や自然エネルギーによる発電設備の景観への配慮等を追加した景観計画の改正を行い、平成30年度から改正された景観計画により景観施策を進めてまいります。また、良好な景観形成を促進するためには、景観に関する市民や建築関連業者の意識向上が重要でありますことから、周知啓発を図るために、従来から実施しております「景観シンポジウム」や「都市景観賞」を継続するほか、周知啓発に有効な施策について検討してまいります。 法令に違反する屋外広告物につきましては、対応を強化するため、平成26年度に是正指導事務処理要領及び是正指導計画を策定して取り組んでおります。また、平成26年度以降、市民、屋外広告業者、行政機関が参加する「広告景観タウンミーティング」を継続して開催し、官民連携による屋外広告物の適正化に向けた取り組みを行っているところです。今後におきましては、市民、事業者等の理解を得ながら、良好な景観を形成するための屋外広告物の適正な設置に係る取り組みを一層推進してまいります。 （都市整備部景観政策課）
P 5 ・ 鉾屋町地区は重要伝統的建造物群保存地区へ目指していただきたい。	鉾屋町地区につきましては、平成23年11月に策定した「大慈寺地区まちづくり計画」に基づき、盛岡町家の保存と街並み形成の誘導を図ることとしており、平成24年度には、この計画に基づき、住民合意を踏まえ、都市計画法に基づく「地区計画」、景観法に基づく「景観地区」の指定を行い、地域住民との協働によるまちづくりを進めております。 「重要伝統的建造物群保存地区」は文化財保護法に基づく制度であり、指定要件に合致するか等文化財としての評価の問題がありますほか、現状変更規制がかけられることとなり、所有者や地元の合意形成等の課題となりますことから、地元の動向も注視しながら指定の可能性等について研究してまいりたいと存じます。 （都市整備部景観政策課、教育委員会事務局歴史文化課）
P 5 ・ 盛岡バスセンターの賑わい拠点としての再生を進めて頂きたい。	盛岡バスセンター再整備事業につきましては、バスターミナル機能と賑わい機能を持つ安全・安心な施設として整備し、バスターミナル機能を維持するとともに、中心市街地活性化及び河南地区の賑わい創出を図ることを目的としています。 再整備事業の検討に当たっては、市民の皆様をはじめ、バス事業者や関係機関のご意見も踏まえながら、検討してまいります。 なお、再整備までの期間におきましては、仮設乗降施設の設置により、バスターミナル

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 5 岩山公園整備について総合的な岩山地区活性化計画を推進して頂きたい。道路整備や旧漆芸美術館の活用を推進されたい。また、盛岡市動物公園の活性化を図られたい。	機能を確保しているところでございます。また、再整備予定地の一部を地元商店街等で構成される団体に貸し出し、「地域活用ゾーン（愛称：SIDE-B）」として賑わいの創出に資するように活用を図っております。 （商工観光部経済企画課，建設部交通政策課，都市整備部市街地整備課） 岩山公園につきましては，平成24年度に作成した「岩山公園整備基本計画」に基づき整備を進めておりますが，さらに岩山エリア全体の活性化を目指し「岩山エリア公民連携事業基本計画」の策定を予定しております。 道路整備につきましては，平成22年度より市道岩山2号線の旧漆芸美術館周辺，約750mの区間について歩道新設事業を実施しており，新庄浄水場側180mの整備が済んでおります。今後も残区間の整備促進に努め，早期の事業完了に向けて取り組んで参りたいと存じます。 旧漆芸美術館の活用につきましても，岩山エリアの活性化に向けた取り組みの一環として検討して参ります。 また，盛岡市動物公園につきましては，今後財政負担増が見込まれるため，民間ノウハウを活用することで財政負担軽減を図りつつ，市民が誇りに思える動物公園を創造することを目的に，公民連携事業を推進して参りたいと存じます。 （都市整備部公園みどり課，建設部道路建設課，総務部管財課）
P 5 かわを生かした街づくりを推進されたい。	市内中心部を流れる中津川や北上川においては，盛岡市と国土交通省が協働により策定した，「盛岡地区かわまちづくり計画」（H21～H32）に基づき，国土交通省が遊歩道，階段，親水護岸の整備等を行い，盛岡市が中津川に隣接する盛岡城跡公園周辺や北上川沿いの歴史的街なみ整備や舟運復活に向けた取り組み等を行うことにより，良好な水辺空間の創出と，地域の活性化の推進に努めて参ります。 （都市整備部公園みどり課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【上下水道局関係】 P 6 上下水道事業における老朽施設の計画的な更新を促進されたい。人口減少に対する施設の集約化や技術の継承を図られたい。	水道施設の更新につきましては、「もりおか水道施設整備構想」及び「第三次盛岡市水道事業基本計画」に基づき計画的に進めているところです。浄水場等施設につきましては、将来の人口減少を見据えた施設の在り方や浄水場の集約化、現有施設の経験知等を踏まえて計画的に取り組んでおり、管路につきましては、老朽化した管路の更新を最優先に進めているところでございます。 老朽化した下水道施設につきましては、平成24年度に策定した「盛岡市下水道長寿命化計画」に基づき、国の長寿命化支援制度を活用し計画的な改築更新に努めているところで、処理施設については、平成26年度から東安庭二丁目地内の中央監視制御棟設備更新工事を実施しており、管路施設については、平成26年度から菜園・内丸地区の合流管の管更生工事を実施し、施設の更新（延命化）を推進しているところです。また、ポンプ場施設については、平成24年度から順次耐震診断を進めており、今後、診断結果を踏まえ計画的な更新を推進してまいります。 また、農業集落排水につきましては、対象集落の人口減少を見据えて、公共下水道への接続に関する具体的検討を進め、平成30年度を目途に農業集落排水施設最適整備構想の策定を進めてまいります。 なお、技術継承におきましては、豊富な知識、経験を有するベテラン職員の退職や市長部局との人事異動に伴い、知識や経験を有する職員が少なくなっていることから、通常時はもとより、緊急時に必要とされる技術力及び能力の不足が懸念されているところであります。 つきましては、業務に必要とされる技術力の確保及び技術の継承を推進するため、OJTなどによる職場研修をはじめとして、業務に必要な資格取得の奨励や水道技術研修施設を活用した研修を通じた現場技術の習得に努めるとともに、上下水道局独自の災害対応訓練の実施や近隣事業体との相互連携及び八戸圏域水道企業団とのパートナーシップに関する覚書に基づき、実践的な能力向上や組織力の強化に努めるとともに、業務マニュアルを活用した業務体制の構築を図ってまいります。 （上下水道部総務課・水道建設課・下水道整備課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 6 災害に対する対策を強化されたい。国土交通省や県と連携した洪水対策の強化や堤防の整備を促進や内水処理対策を示されたい。	災害の対策等につきましては、「盛岡市地域防災計画」や「盛岡市上下水道局災害対策マニュアル」に基づき、市長内部部局と連携を図り、迅速な応急給水及び応急災害復旧等の対応を行うこととしております。 停電に伴う断水対策につきましては、高圧移動用電源車の配備、低圧移動用電源車の更新、上乙部ポンプ場の自家発電装置の整備などを進めてきており、平成26年度で整備を完了いたしました。 また、地震に係る断水対策につきましては、水道創設期（昭和9年）の水道管やビニル管等の耐震管への布設替えを実施しているほか、平成26年度から平成37年度までの計画で、重要給水施設までの配水管の耐震化整備を進めております。 このほか、浄水場間の水融通を可能とするための連絡管、滝沢市や岩手町などの近隣市町との連絡管の整備を進めております。 内水処理対策につきましては、過去の浸水被害の状況や緊急性等に配慮しながら、計画された雨水幹線施設等の整備を推進するとともに、高次都市機能が集積している市中心部を対象に平成29年度を目途に内水ハザードマップを作成し、周知に努めてまいります。 （上下水道部総務課・下水道整備課）
P 6 松川の安全対策を講じるよう県に働きかけられたい。	〔建設部で回答〕
P 6 鉛管の交換を早期に実施されたい。	鉛製の給水管の解消につきましては、平成15年の水道法改正により水質基準が改正されたことに伴い、現在は経年管対策事業や能力増強事業等の際に切替えを実施しております。また、給水装置の所有者に対しましては、自ら給水装置の改造工事を実施される際に、工事に対する助成制度について詳しく説明等を行うと共に、広報等を通じまして助成制度の周知を図りながら、引き続き解消に努めてまいります。 （上下水道部給排水課）
P 6 水道事業広域化にむけた工程や概要を早期に市民に示されたい。	水道事業の広域化につきましては、平成28年2月29日付け総務省通知「市町村等の水道事業の広域連携に関する検討体制の構築等について」及び同年3月2日付け厚生労働省通

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
	知「水道事業の広域連携の推進について」が各都道府県あて発出され、県は広域連携に関する検討体制を平成28年度中の早期に設置し、できる限り平成30年度までを目途に検討を行い、検討結果を公表すること等が求められているところです。 総務省及び厚生労働省の通知を受け、岩手県においては、平成29年1月23日付けにて「岩手県水道事業広域連携検討会」が設置され、県内5ブロックの検討会による検討体制が設けられているところです。盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、岩手町、矢巾町の6市町で構成する「盛岡広域ブロック検討会」においては、平成29年5月に検討会規約を制定し、平成30年度末までの検討結果の公表に向けて、広域連携に関する検討を進めているところです。 なお、盛岡市を含む6市町においては、各市町の水道事業の課題等に関する情報交換や広域化等に関する研究を進めるため、平成24年度から「水道事業の諸課題等に関する意見交換会」を開催するとともに、平成26年度には実務担当者による「盛岡広域水道圏における水道事業の経営形態安定化に関する研究会（盛岡広域水道圏研究会）」を設置し、平成27年11月に広域化を想定した施設整備・事業運営のあり方等を整理した報告書のとりまとめなどにより、広域化や広域連携等に関する検討の取組を行ってきたところです。 （上下水道部経営企画課）
P 6 ・ 新米内浄水場整備の全体像を市民に公表されたい。	米内浄水場は、創設から83年を経過しており、平成40年代半ばの完成を目標に、施設の再構築について検討に着手したところでありますが、長期的な施設整備構想や関係機関等との協議を踏まえ、全体像が決定しましたら市民に公表することとしております。 （上下水道部水道建設課）
P 6 ・ 下水道熱の利活用をされたい。	下水道熱を利活用した施設は、過去に市内で導入した事案がありますが、現在事業中の箇所においては、見込んでいるところはありません。しかしながら、新たな下水道の役割を積極的に果たしていくため、他都市の事例等も研究しながら検討してまいりたいと存じます。また、下水熱を活用した他都市での融雪装置への導入事例などがございますので、活用していただける事業者への積極的な情報提供に努めてまいりたいと存じます。 （上下水道部下水道整備課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【市立病院関係】 P 6 - 持続的に医師の確保につとめられたい。 P 6 - 累積債務75億円台到達しているが、この圧縮のために早期に対策を講じていただきたい。	医療の質の向上と収益改善を進めるうえで医師の確保は最も重要なことであり、平成29年度は、呼吸器内科1名、消化器内科2名の常勤の医師を確保しました。今後も岩手医科大学へ医師派遣を引き続き要請するとともに、医師紹介業者等からの情報も収集しながら、常勤医師の確保に努めてまいります。 （市立病院総務課） 引き続き医師確保に努めるとともに、地域包括ケア病棟を円滑に運用することや、他の医療機関や介護施設との連携・協調のもとに、市民ニーズに応える医療を提供することにより、安定経営を目指し、累積債務の縮小に取り組んでまいります。 （市立病院総務課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【子ども未来部】 P 3 - 不登校生徒に対する野外事業や体験事業を支援されたい。 P 3 - 不登校やひきこもりの子ども若者に対するアウトリーチ事業を実施して頂きたい。「不登校・ひきこもりセミナー」を実施し啓発活動を実施して頂きたい。 【商工観光部関係】 P 4 - 石川啄木を通じた、函館市・文京区との連携や友好関係の締結を促進されたい。	不登校生徒に対する野外事業や体験事業については、様々な体験活動を通して、人との交流を図りながら、自立性を高め、集団への適応力を高めるため、教育研究所のいきいきスクール事業において、野外活動、動物飼育体験、スポーツ体験活動等を実施しております。 （教育委員会事務局学校教育課） 不登校生徒につきましては、不登校生徒等対策相談員を含め、教職員が家庭訪問等をし、生徒の実態に合わせた指導を行っております。 子どもや若者に対するアウトリーチにつきましては、ひきこもり支援に取り組んでいるNPO法人だけでなく、多様な機関による取り組みが有効とのことから、「我が事・丸ごと」モデル推進事業の中で事例検討などを行い、支援方法や啓発活動について検討してまいります。 （保健福祉部地域福祉課，教育委員会事務局学校教育課） 本市は、函館市とは「啄木かるた大会」を相互に開催しておりますし、東京都文京区とは平成24年7月に「石川啄木ゆかりの地」地域文化交流に関する協定を締結するなど、両都市とは、「啄木」を縁とした交流を進めております。 29年度については、函館市におきましては、本市教育長が「函館市文学館」を訪問するなど、文化レベルでの交流を深めているほか、文京区におきましては、成澤廣修文京区長を盛岡に招待し、啄木ゆかりの地の訪問やさんさパレードに参加いただくなど、交流を図っているところであります。 今後、函館市、文京区とは、「啄木」を縁に、人的・物的な交流を促進し、更なる連携・友好関係を築くよう努めてまいります。 （市長公室企画調整課，教育委員会事務局歴史文化課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【都市整備部関係】 P 5 ・ 鉾屋町地区は重要伝統的建造物群保存地区へ目指していただきたい。	鉾屋町地区につきましては、平成23年11月に策定した「大慈寺地区まちづくり計画」に基づき、盛岡町家の保存と街並み形成の誘導を図ることとしており、平成24年度には、この計画に基づき、住民合意を踏まえ、都市計画法に基づく「地区計画」、景観法に基づく「景観地区」の指定を行い、地域住民との協働によるまちづくりを進めております。 「重要伝統的建造物群保存地区」は文化財保護法に基づく制度であり、指定要件に合致するか等文化財としての評価の問題がありますほか、現状変更規制がかけられることとなり、所有者や地元の合意形成等の課題となりますことから、地元の動向も注視しながら指定の可能性等について研究してまいりたいと存じます。 （都市整備部景観政策課・教育委員会事務局歴史文化課）
【教育委員会関係】 P 6 ・ 学力の向上とあわせて全国平均を下まわる体力の一層の向上策を講じられたい。	学力向上については、教員の指導力の向上を図るために、各校の校内研究会への指導主事の派遣や研究指定校による公開研究会の開催を行っております。また、平成21年度から学力向上に向けての全市的取組である「盛岡市学力向上プロジェクト」を推進してまいりました。 その成果の継承と課題の解消に向け、27年度から名称を「盛岡市学力向上推進事業」と変更し、29年度は「学習課題を把握し、見通しをもつ活動」、「考え、学び合う活動」、「振り返る活動」の3つの活動を日々の授業に位置付けた取組は継続した上で、特に、児童生徒が自らの学びの思考過程を振り返る取組に焦点を当てた「振り返る活動」の徹底とともに、各種調査における無解答の減少に取り組んでおります。 体力向上については、各校において、体力・運動能力調査の結果を基に、十分な運動量を確保しながら体育授業の改善に取り組むこと、日常的に小学生の外遊びを奨励することなどに取り組んでおります。また、体力向上に関する研究委託や教員研修を行うとともに、スポーツ推進課及び盛岡市体育協会の事業と連携を図りながら、体の基本的な動きや体力向上に関する研修会に参加するよう指導を行っております。 （教育委員会事務局学校教育課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 6 職業観・社会観の醸成をされたい。そのために地区の人材を講師として招聘されたい。	盛岡市では、児童生徒の社会的・職業的自立のために必要な能力を育むため、平成19年度に、産業界や関係行政機関等を委員とする「キャリア教育推進協議会」を立ち上げ、各学校での実践を支援するため、「職場体験リスト」の作成やリーフレットの作成を行ってまいりました。 職業に関する講話や授業協力をいただける人材を確保するため、27年度に「職場体験リスト」を刷新し、「職場体験受入・キャリアアドバイザーリスト」として新たに作成し、市内全小中学校へ配布いたしました。今後は、推進協議会委員の御協力をいただきながら、リストの掲載事業所の数や職種の充実を図ってまいります。また、地区の人材等を活用し、キャリア教育の充実を図るよう、各学校に働きかけてまいります。 なお、各学校では、生活科や総合的な学習の時間において、地域の人とかかわる活動を行っております。 （教育委員会事務局学校教育課）
P 6 盛岡市立高校の活性化を図られたい。県教育委員会まかせではない、市教育委員会の独自の人事制度や教員配置を通じ、生徒の集まる環境を整備されたい。	平成16年度から21年度まで実施した市立高校教育改革により、大学進学率、就職率が向上し、国公立大学合格者数も増加しております。また、部活動奨励により、スポーツ、文化活動ともに優秀な成績を収めており、市立高校に対する評価が高まってきております。 平成25年度に策定した第二次市立高校教育改革基本方針により、教育環境の変化に対応しながら、更なる高校教育の質の向上に努めてまいります。 受験者の確保につきましては、入試制度改革や中学校訪問などにより学校の教育内容や入試制度などの説明を行なっておりますが、今後も引き続き学校の特色や成果等について周知を図り、受験者の増加に努めてまいります。 教員の配置につきましては、市立高校が1校であり人事異動の面から独自の配置は困難でありますことから、これまで同様、県教育委員会と連携しながら、進めてまいります。 （教育委員会事務局学務教職員課・市立高校）
P 6 市内全域の学校教育施設等の整備促進計画案の公表（統廃合含む）をされたい。中学校での先行を行われたい。	学校教育施設等につきましては、平成28年3月に策定された「盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」に基づき整備しており、当該計画は、公表しております。 盛岡市立小中学校の統廃合につきましては、平成21年4月に盛岡市小中学校適正配置基本方針を策定し、平成21年度から23年度までに基本方針に関して聴取等を行った保護者、

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 6 中学校の部活動にかかる費用を支援して頂きたい。大会等の旅費について運動部・文化部にかかわらず拡充を図られたい。	学校関係者、地域からの意見等を踏まえ、平成24年11月に盛岡市小中学校適正配置基本計画を策定しております。 計画では、中学校単位での統合を先行することについては特に触れてはおりませんが、地域との懇談等において、適正配置に関する意見や要望が出された場合には、適切に対応してまいります。 (教育委員会事務局総務課・学務教職員課)
P 6 学校司書の配置をして頂きたい。	中学校のクラブ活動費の支援につきましては、経済的理由により就学が困難と認められる生徒のうち、国が支援を行う要保護生徒に対しては、平成21年7月から生活保護費の教育扶助学習支援費の一部として支給してきております。市が支援を行う準要保護生徒に対しては、市内中学校の実態調査等を行いながら検討してまいります。 運動部については、県大会、東北大会及び全国大会へ派遣するために、生徒の旅費の一部を盛岡市中学校体育連盟に助成しており、30年度についても継続してまいります。 文化部については、29年度は、全国大会へ出場する吹奏楽部や合唱部などの団体に対し、助成しているところであり、30年度も継続するよう努めてまいります。 (教育委員会事務局学務教職員課・学校教育課)
P 6 就学支援金の拡充をされたい。	学校司書の配置につきましては、平成29年度は1名増員し、20校に10名を配置しております。今後も、学校図書館の整備・充実のため、配置人数の増員に努めてまいります。 (教育委員会事務局学校教育課)
P 6 市立図書館建て替えについて、市民要望が充分反映する形での検討をされたい。	市立高校における就学支援金制度につきましては、国の制度に基づき運用してまいります。 (教育委員会事務局学務教職員課)
	市立図書館の整備につきましては、「盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」と整合を図りながら検討することとなっており、現在、図書館のあり方や、今後の整備方針を検討しております。平成29年度末までには耐震診断の結果が出されることから、その結果も踏まえるとともに、図書館に関する様々な意見なども参考にしながら、検討を進めてまいります。

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 6 ・ 小中高における特別支援学級の充実をされた い。	(教育委員会事務局生涯学習課) 盛岡市立小中学校に設置された特別支援学級は、平成28年度は小学校76学級、中学校33学級でしたが、対象児童生徒の増加や未設置校からの要望により、29年度は、小学校7学級、中学校2学級を新たに設置しております。今後とも、各学校の実態を受け、必要に応じて設置するよう努めてまいります。
P 6 ・ 教育予算を増やし、耐震工事・屋根塗装・老 朽校舎整備・プール改修、トイレの洋式化など 教育条件整備に努められたい。	(教育委員会事務局学校教育課) 耐震補強工事は、平成28年8月に完了しております。 屋根塗装、老朽校舎整備及びプール改修につきましては、経過年数や老朽化の状況などにより、緊急度や優先度を勘案しながら、計画的に整備するよう努めてまいります。 トイレの洋式化につきましては、現在、各学校の状況を把握しながら、計画的に整備することを検討しております。
P 6 ・ 情報教育の更なる推進に向けて、I C T整備・ 指導者育成に努めること。	(教育委員会事務局総務課) I C T整備につきましては、コンピュータの契約更新に併せ、最新の機種に入れ替えるとともに、超高速インターネット接続率の向上に順次努めております。また、改訂された学習指導要領に基づき、小学校外国語の学習の実施に向け、電子黒板の増設に努めてまいります。 指導者研修につきましては、情報教育推進のため、コンピュータソフトの操作に係る公開講座を開講し、指導者の育成に努めております。
P 6 ・ 市指定文化財を県指定・国指定に再評価して いくよう働きかけたい。	(教育委員会事務局学校教育課) 市の指定文化財が県及び国の指定文化財となるためには、県及び国の類似の文化財との比較において県及び国を代表する典型的で重要なものであることを示す必要があり、個々の事例について、調査研究に努めてまいります。
P 6 ・ 市立学校の生徒が年間一回は市営施設を利用 するよう奨励されたい。	(教育委員会事務局歴史文化課) 各学校では、生活科や社会科、理科等の授業の一環として、消防署や浄水場、子ども科学館等の施設見学を取り入れながら学習しております。また、体育のスケート学習として

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
	アイスリンク、また、先人教育の一環として、先人記念館や原敬記念館、石川啄木記念館、盛岡てがみ館などの見学を行っている学校もあります。さらに、小学校においては、動物公園の見学など、多くの児童生徒が利用している状況にあります。 今後も、市営施設等を活用しながら、児童生徒の学力や体力の向上に努めるよう、各学校に働きかけてまいります。 (教育委員会事務局学校教育課)
P 6 各分野の伝統文化の担い手の相互交流を促進する機会をつくっていただきたい。	市では、盛岡市所在の指定無形民俗文化財等の保存・活用を図り、その保持団体の相互連絡を密にし、後継者の育成を図ることを目的とした、「盛岡市無形民俗文化財保存連絡協議会（54団体が加盟）」に対して、補助金を交付しその活動を支援しているほか、青少年郷土芸能フェスティバルを共催するなど、積極的に民俗芸能の担い手の育成を促進する機会を設けております。 (教育委員会事務局歴史文化課)
P 6 いじめや自殺防止のため、L G B Tを含む人権教育の強化に取り組まれない。	いわゆるL G B Tといった性的指向を取り立てた指導は行っておりませんが、各学校では、人権教育の内容として、社会科の学習の中で「基本的人権を尊重すること」、道徳の中で「だれに対しても差別や偏見を持つことなく接すること」、学級活動の中で「自己及び他者の個性を理解し尊重すること」を児童生徒の発達段階に応じ、指導しております。 (教育委員会事務局学校教育課)
P 6 教職員の不祥事防止を徹底されたい。	教職員の綱紀保持の徹底を図るとともに、教育公務員として一人一人の行動が、教育に対する信頼に及ぼす影響を深く自覚することを促し、モラルの向上、法令遵守の徹底について繰り返し指導し、不祥事の再発防止に引き続き取り組んでまいります。 今年8月の飲酒運転事案を踏まえ、飲酒運転を含めた不祥事未然防止について、組織的な対応をより一層徹底していくとともに、教職員個々の状況に応じた指導や相談を進めるなどして、教職員一人一人のコンプライアンス意識の醸成に努めてまいります。 (教育委員会事務局学務教職員課)
P 7 私費の抑制に努められたい。	学校集金等で保護者が負担している「私費」には、ドリルや副教材など学校で使用する教材の費用や、見学のバス代など学校外活動に必要な費用などがあります。学校運営での

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 7 ・ 不登校の子ども達へ通信制高校の紹介を実施して頂きたい。	私費利用については、目的及びルールを定めた「盛岡市学校徴収金事務取扱要領」に沿って各学校長が決定しておりますが、金額が保護者の負担過重とならないよう、適正な取り扱いを指導してまいります。 (教育委員会事務局学務教職員課)
P 7 ・ 全国の山村留学の情報の提供をされたい。	各中学校において、通信制高等学校を含む高等学校等について生徒及び保護者に紹介する等、適切に進路指導を実施しております。不登校の生徒に対しても、早期から進路に関する相談を行い、生徒の卒業後を見据えた進路指導を実施しております。 (教育委員会事務局学校教育課) 山村留学とは、小中学生が自然豊かな農山漁村に一年間単位で移り住み、地元の小中学校に通いながら、様々な体験を積むものであり、平成27年度文部科学省委託事業を受けた「特定非営利活動法人 全国山村留学協会」の実態調査報告書によると、参加者数は減少傾向にあります。 文部科学省は、山村留学について、小規模校活性化のため、児童生徒集団の多様性を確保するなどの観点から、積極的に検討する必要があるとしておりますが、本市においては、小中一貫教育に係る事業や、教育研究所委託研究における小規模・複式学級における学校連携の事業において、交流学习等、児童生徒集団の多様性を確保する取組を行い、小規模校の活性化を図っているところです。 (教育委員会事務局学校教育課)

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【建設部関係】 P 4 市道日戸柴沢線の常光寺より先の拡幅整備，また日の出橋の前後の道路整備を実施されたい。	市道日戸柴沢線の常光寺より先の拡幅整備につきましては，側溝整備による拡幅等を検討して参りますが，現在施工中の路線及び同様の要望路線がありますことから，実施については，他の路線の状況を含めて総合的に判断し，予算の確保に努めて参ります。 日の出橋（日戸柴沢線1号橋）の前後の整備につきましては，橋梁工事を含め平成28年度で完了いたしております。 （玉山総合事務所建設課）